2022年12月期
第1四半期決算説明会

STOCK CODE：9449

GMO INTERNET

グループ代表　熊谷 正寿
取締役副社長　安田 昌史

2022年5月12日

売上高計上ルール変更※｜影響

売上高

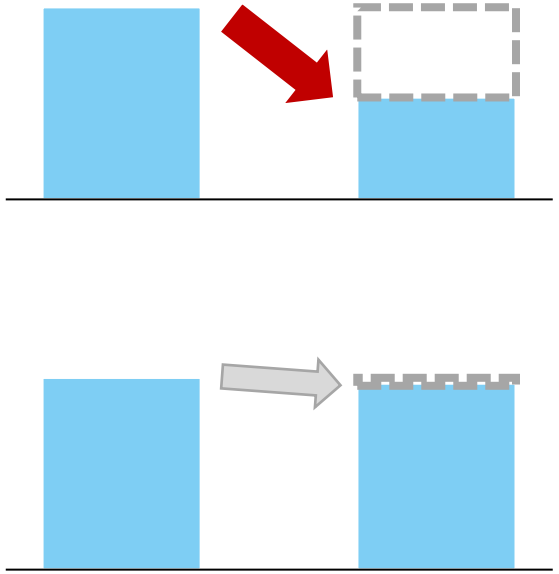
- **広告・メディア**
  広告代理における広告枠仕入額の純額処理などにより、
  見かけ上大きく減少

- **インフラ**
  契約時一括処理から契約期間に応じた期間按分処理、
  EC支援での純額処理などあるも、**影響は限定的**

- **金融・暗号資産・インキュベーション：**影響なし

利益：軽微

新ルールを適用した場合の
売上高イメージ



※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）

売上高計上ルール変更※｜前年比較方法

影響のある部門（連結、インフラ、広告・メディア）

▶ **前年同期比（旧･旧）** により、事業の実態を表現

（ **前年同期比（旧･新）** についてはAppendixに記載）

影響のない部門（金融、暗号資産）

▶ **前年同期比（旧･新）**

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）

１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
４．戦略的取り組み

結論と要約｜Q1（1-3月）決算サマリー

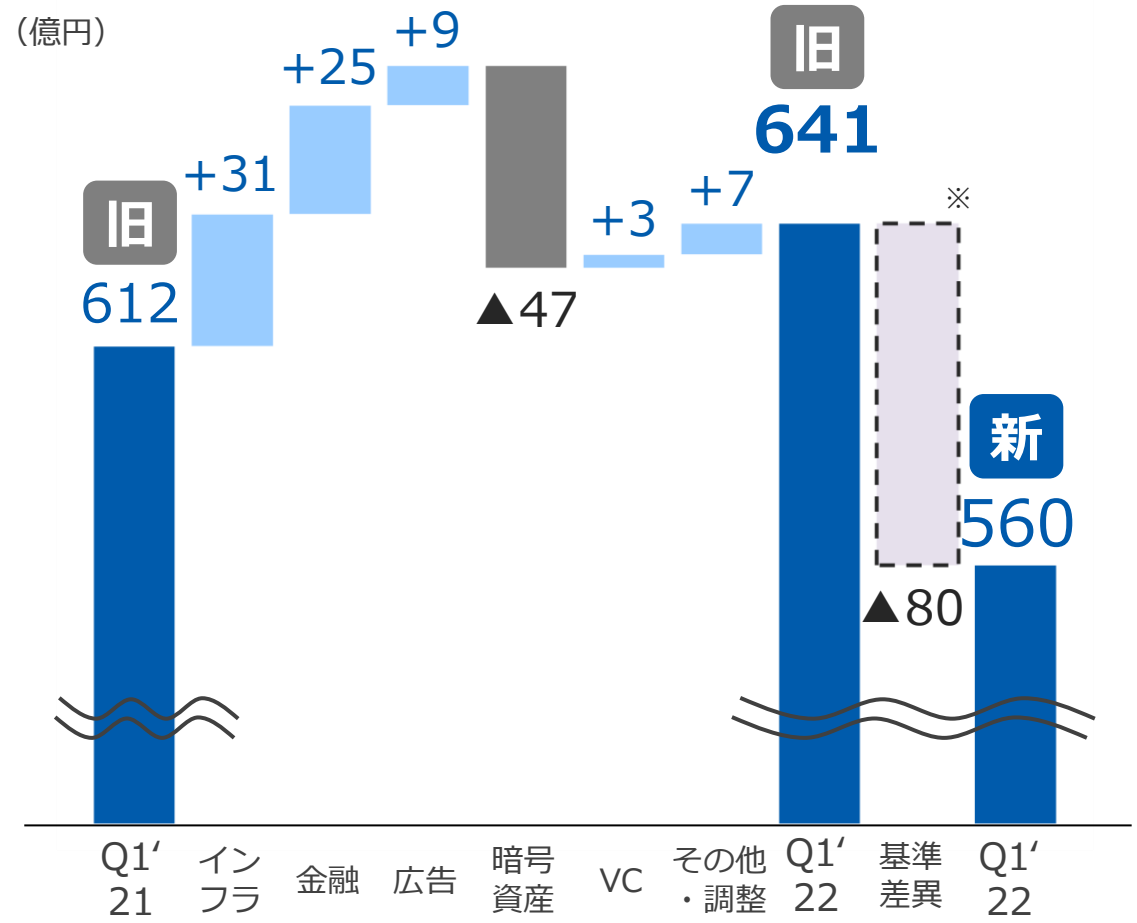
（億円）	旧 Q1‘21 （1-3月）	新 Q1‘22 （1-3月）	旧 Q1‘22 （1-3月）	前年同期比（旧・旧） 増減額	増減率
売上高	612	**560**	**641**	**+29**	**+4.7%**
営業利益	124	**111**	**111**	**▲13**	**▲10.8%**
経常利益	135	**120**	**120**	**▲14**	**▲10.7%**
最終利益	56	**64**	**64**	**+7**	**+13.7%**

最高業績

結論と要約｜Q1（1-3月）YoY増減分析

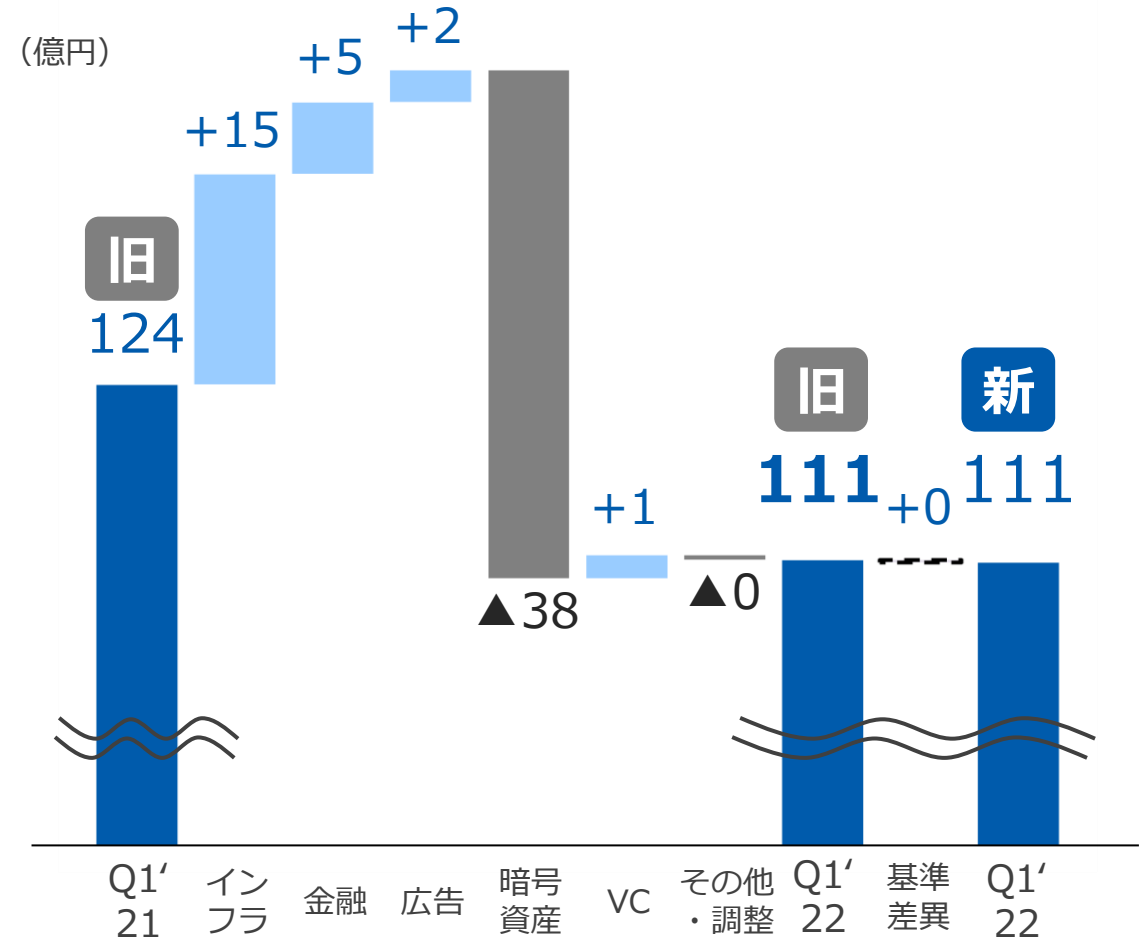
売上高

対前年 **29**億増収



営業利益

対前年 **13**億減益



※基準差異の内訳：インフラ▲23億、広告▲57億

結論と要約｜Q1（1-3月）決算サマリー

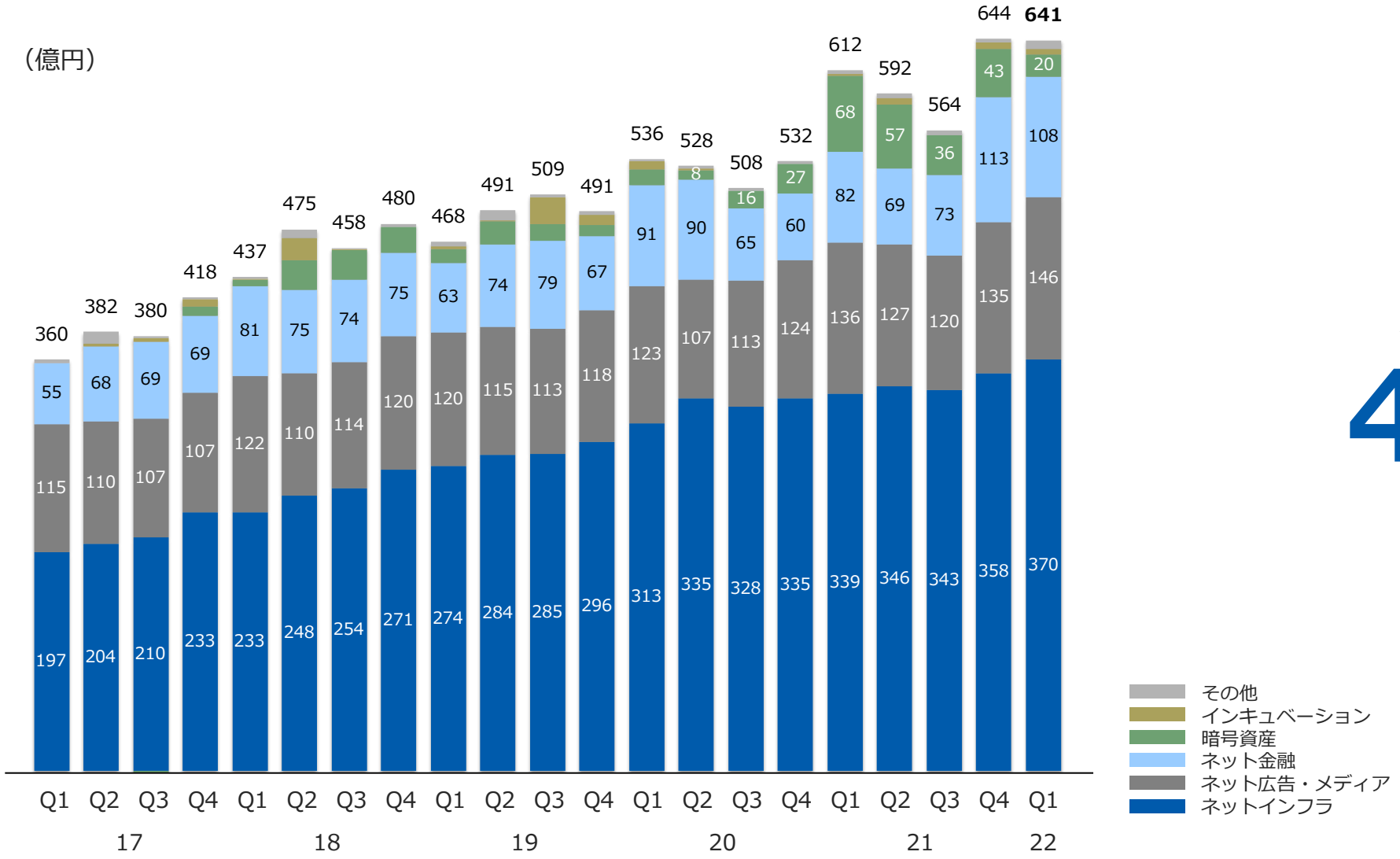
前年同期比（旧･旧）

					評価
インフラ	売上	370億	（YoY＋9.2%）	圧倒的No.1サービスの集合体	最高業績 ◎
	営業利益	63億	（同+33.3%）	各事業の利益拡大で最高業績を大幅更新	
広告・メディア	売上	146億	（同+6.9%）	V字回復途上、ささやかながら最高業績を更新	最高業績 ◎
	営業利益	8億	（同+37.7%）	自社メディアを中心に好調に推移	
金融	売上	108億	（同+31.2%）	FXは取引高は拡大も、円安一方向の相場で収益性は×	×○○▼○
	営業利益	36億	（同+17.7%）	CFDは取引高・収益ともに過去最高で○ 外貨ex byGMOの連結効果もあり伸長○	
暗号資産	売上	20億	（同▲69.9%）	口座数・預かり資産は○、マーケット環境が×	○×▼△
	営業利益	1億	（同▲96.0%）	収益機会の到来に備え、淡々と体制を構築	

１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
４．戦略的取り組み

決算概要｜セグメント別売上高

前年同期比（旧・旧）

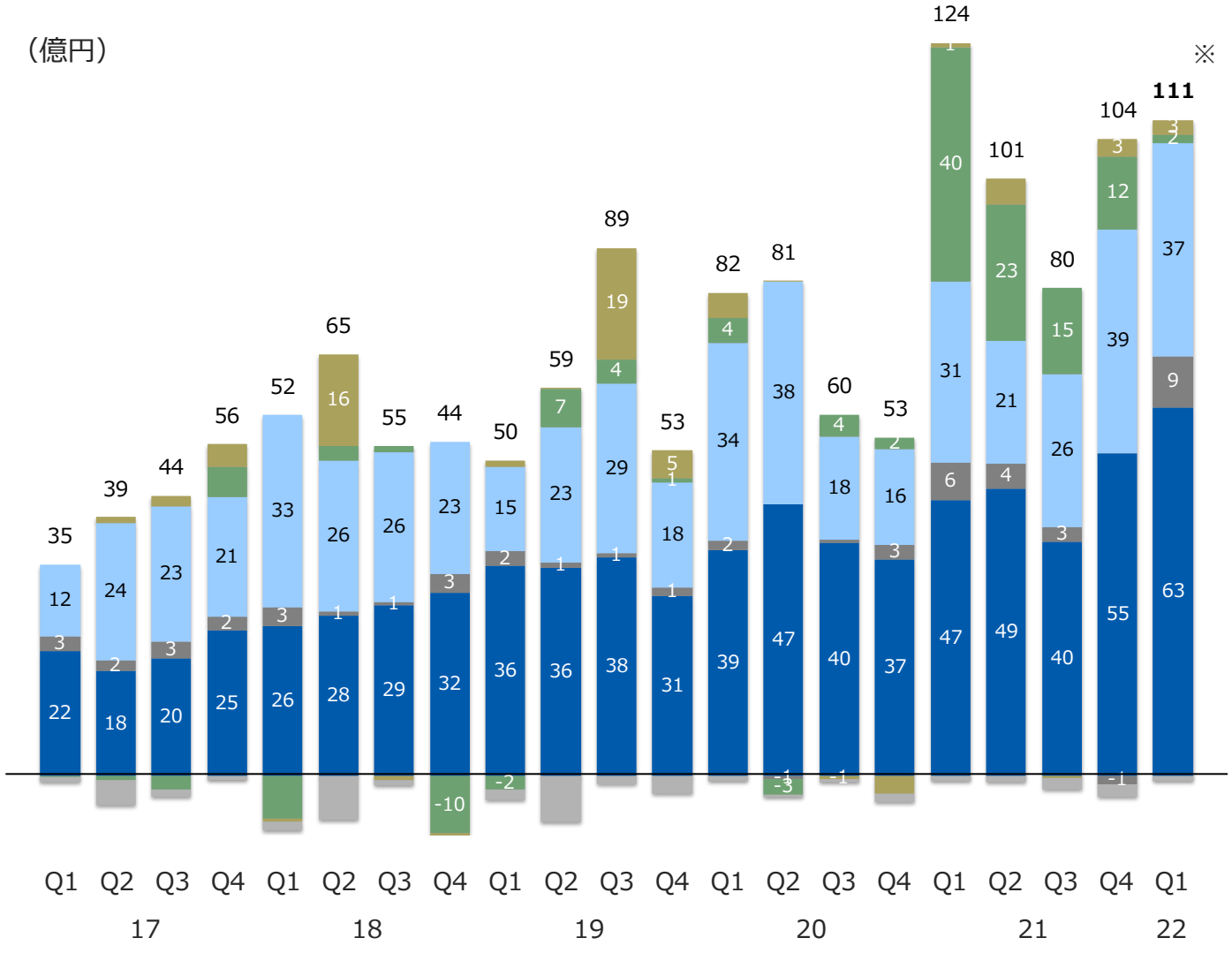


対前年

4.7%増

決算概要｜セグメント別営業利益

前年同期比（旧･旧）



対前年

10.8%減

※新収益基準との差異　-0.0億

結論と要約｜株主還元（方針）

総還元性向

50%

＝

配当性向

33%以上

四半期配当

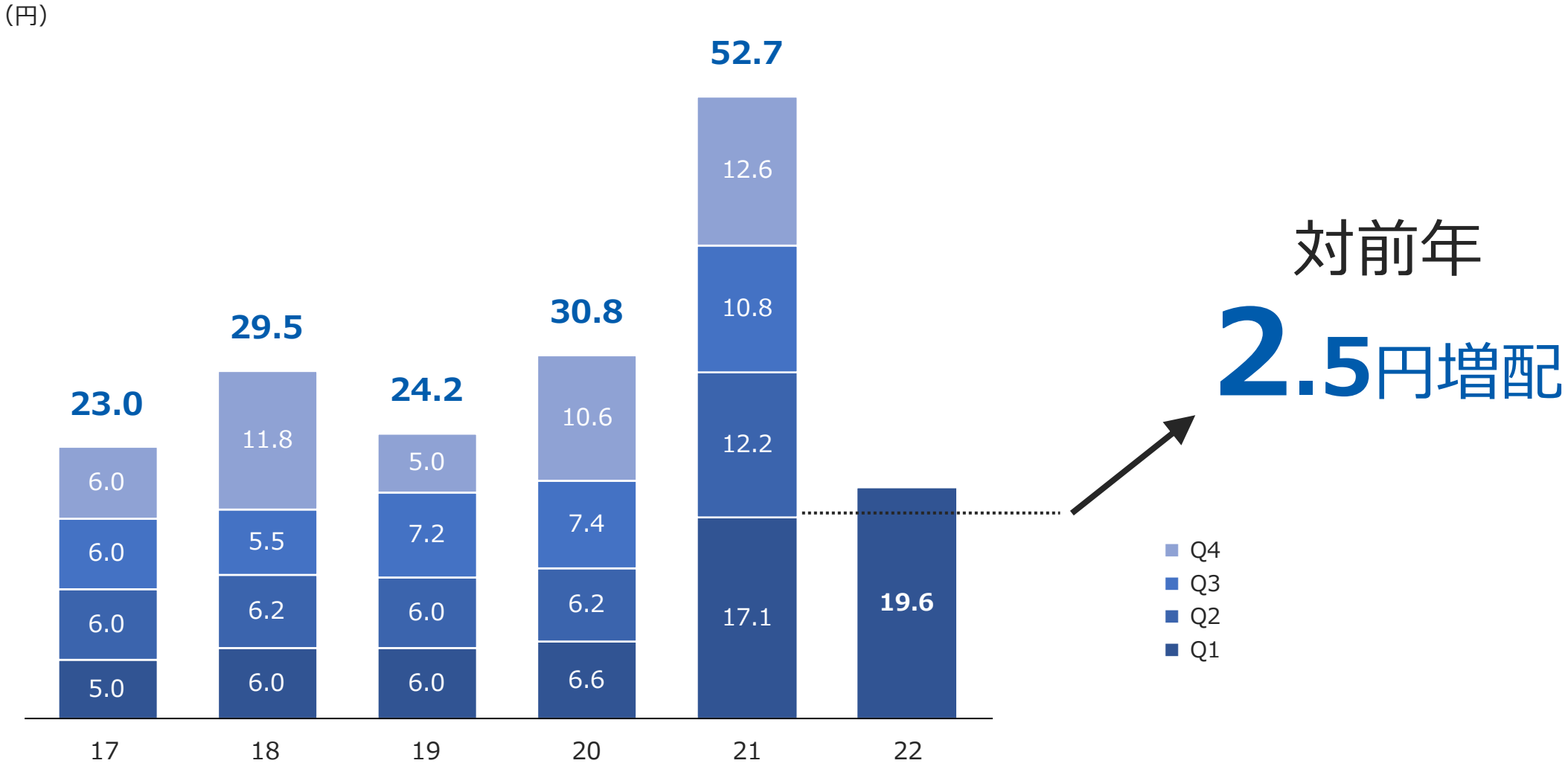
＋

自己株式の取得・消却

17%

年度末の最終利益を原資として
翌年度に実施

結論と要約｜株主還元（１株あたり配当金）



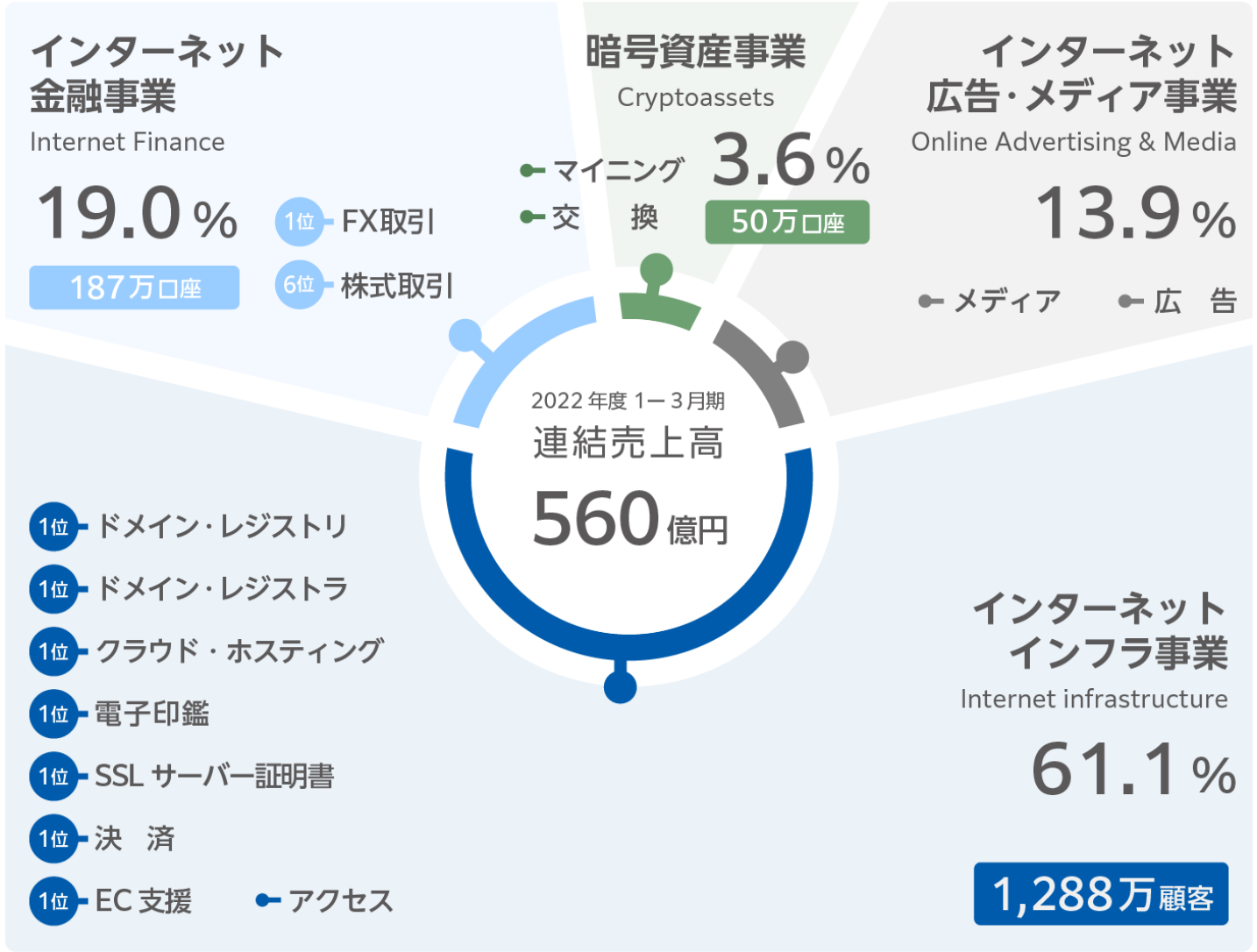
１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
４．戦略的取り組み

グループ概況｜上場グループ10社　時価総額・持分相当額

コード	銘柄名	市場	時価総額 ※1 (億円)	持分比率 ※2	持分相当額 (億円)
9449	GMOインターネット	プライム	2,716		
3769	GMOペイメントゲートウェイ	プライム	7,556	40.7%	3,076
7177	GMOフィナンシャルHD	スタンダード	926	65.3%	604
4051	GMOフィナンシャルゲート	グロース	554	23.5% ※3	130
3788	GMOグローバルサイン・HD	プライム	574	51.8%	297
3633	GMOペパボ	プライム	107	59.1%	63
4784	GMOアドパートナーズ	スタンダード	68	58.3%	39
6180	GMOメディア	グロース	33	66.4%	22
3695	GMOリサーチ	グロース	43	54.8%	23
6026	GMO TECH	グロース	20	54.1%	10
	グループ10社合計		**1兆2,601億円** ※4		**4,270億円**

※1:時価総額は5/11時点　※2:持分比率は3月末時点の間接保有分を含む値　※3:GMO-PGを通じた間接保有分　※4:単純合算

グループ概況｜事業領域



岩盤収益基盤

1,525万顧客

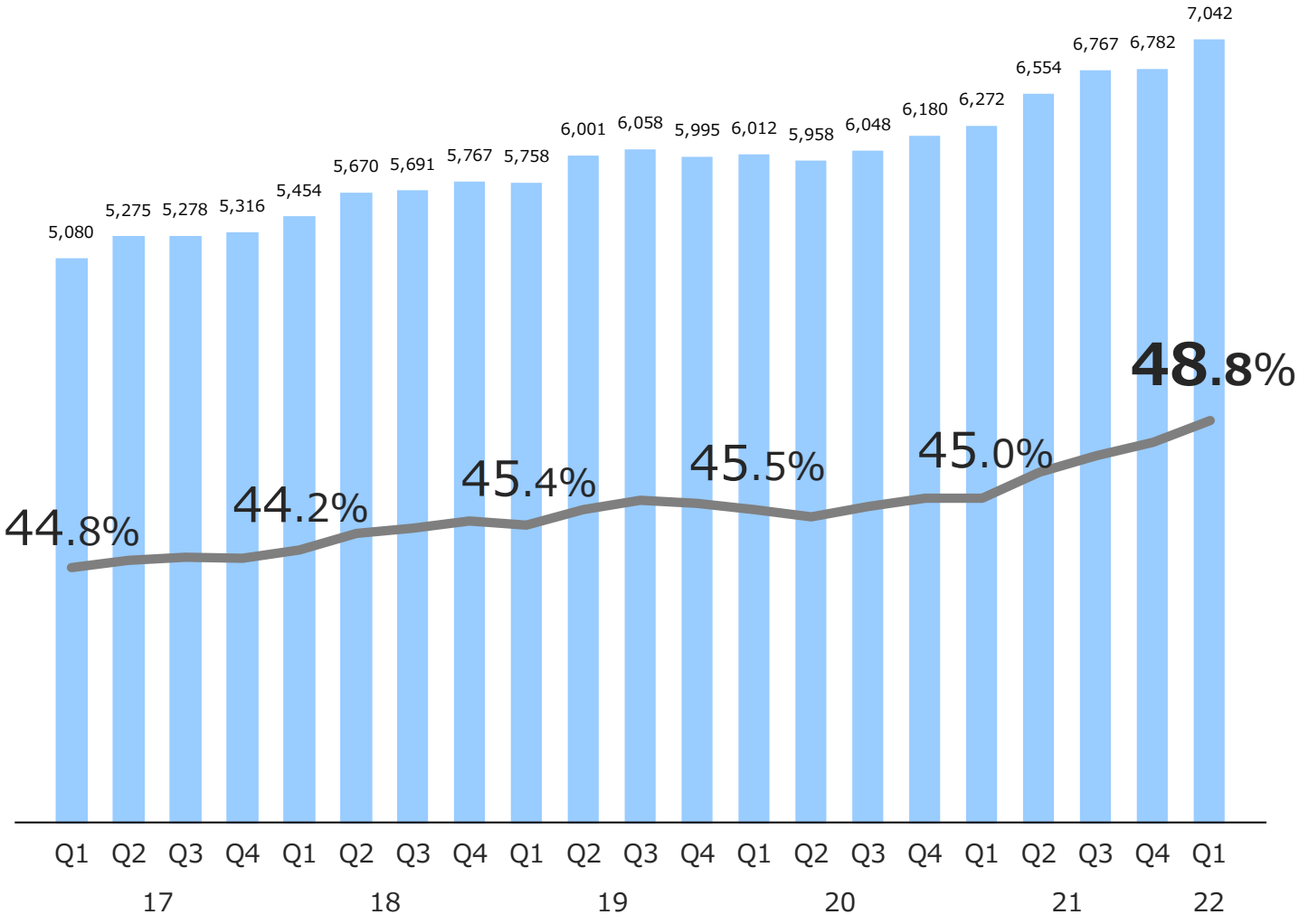
インフラ+金融

対前年

178万件増

※売上比率はセグメント間取引消去前の数値で算出。インフラ、金融、暗号資産事業の契約数を実数で集計。インターネット金融事業の口座数にGMOあおぞらネット銀行の口座は含みません
（旧基準ではインフラ56.2%、広告・メディア22.2%、金融16.4%、暗号資産3.1%）

グループ概況｜強み（技術力）



エンジニア比率

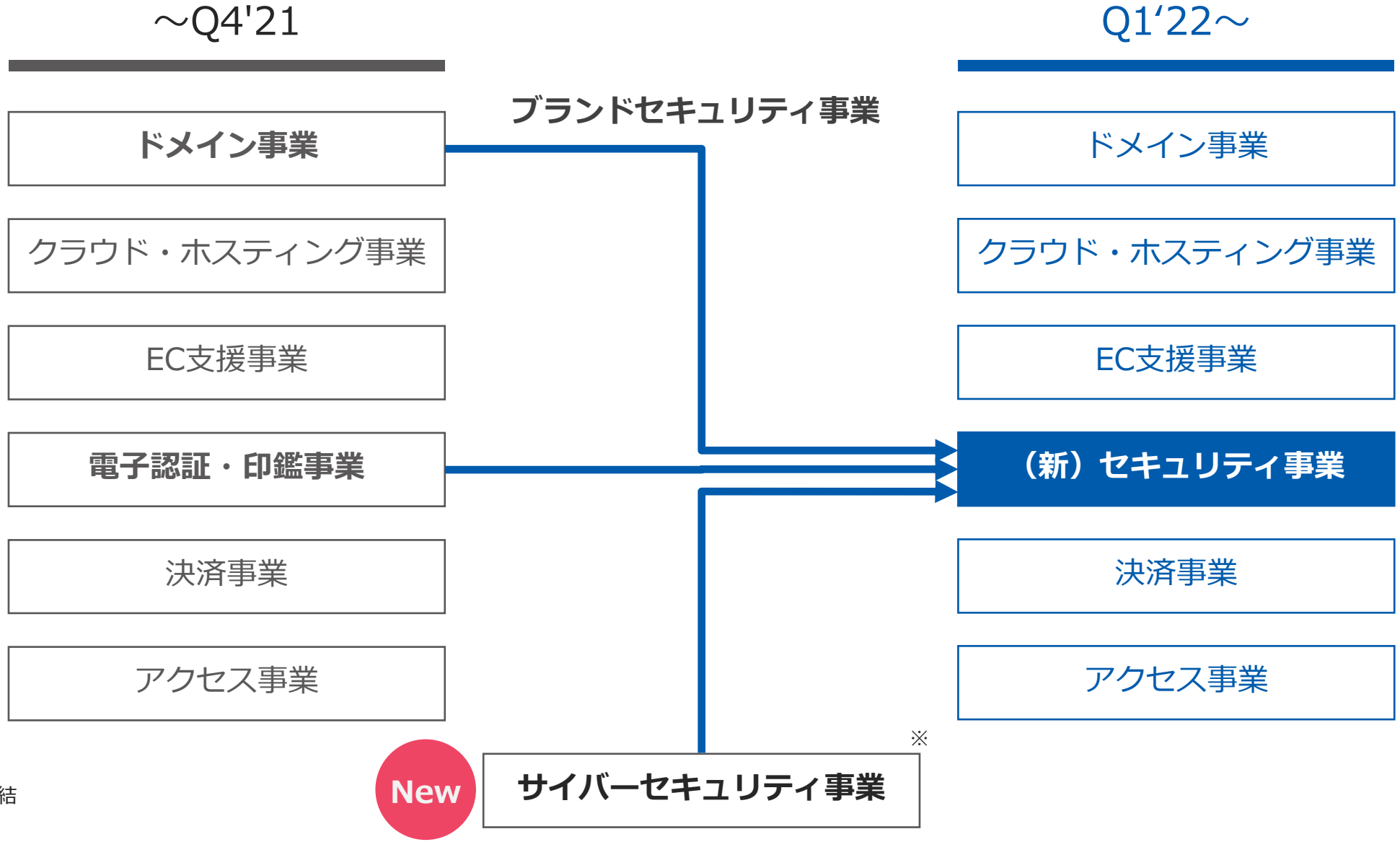
50%目標

総パートナー（役員・非常勤役員を除く）（人）
うち、エンジニア・クリエイター比率（%）

※持分法適用会社（GMOあおぞらネット銀行など）のパートナー数は含みません、なお、2022年３月末時点で205名なります。

１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
４．戦略的取り組み

ネットインフラ｜サブセグメントの変更



※22Q2以降PL連結

ネットインフラ｜（新）セキュリティ事業　3つの領域

①暗号セキュリティ

GlobalSign®

電子印鑑なら
GMOサイン

②サイバーセキュリティ

GMO CYBER SECURITY IERAE ※1

③ブランドセキュリティ

GMO BRAND&SECURITY ※2

※1:22Q2以降PL連結　※2:5/11商号変更（旧商号：GMOブライツコンサルティング）、ドメイン事業から移管

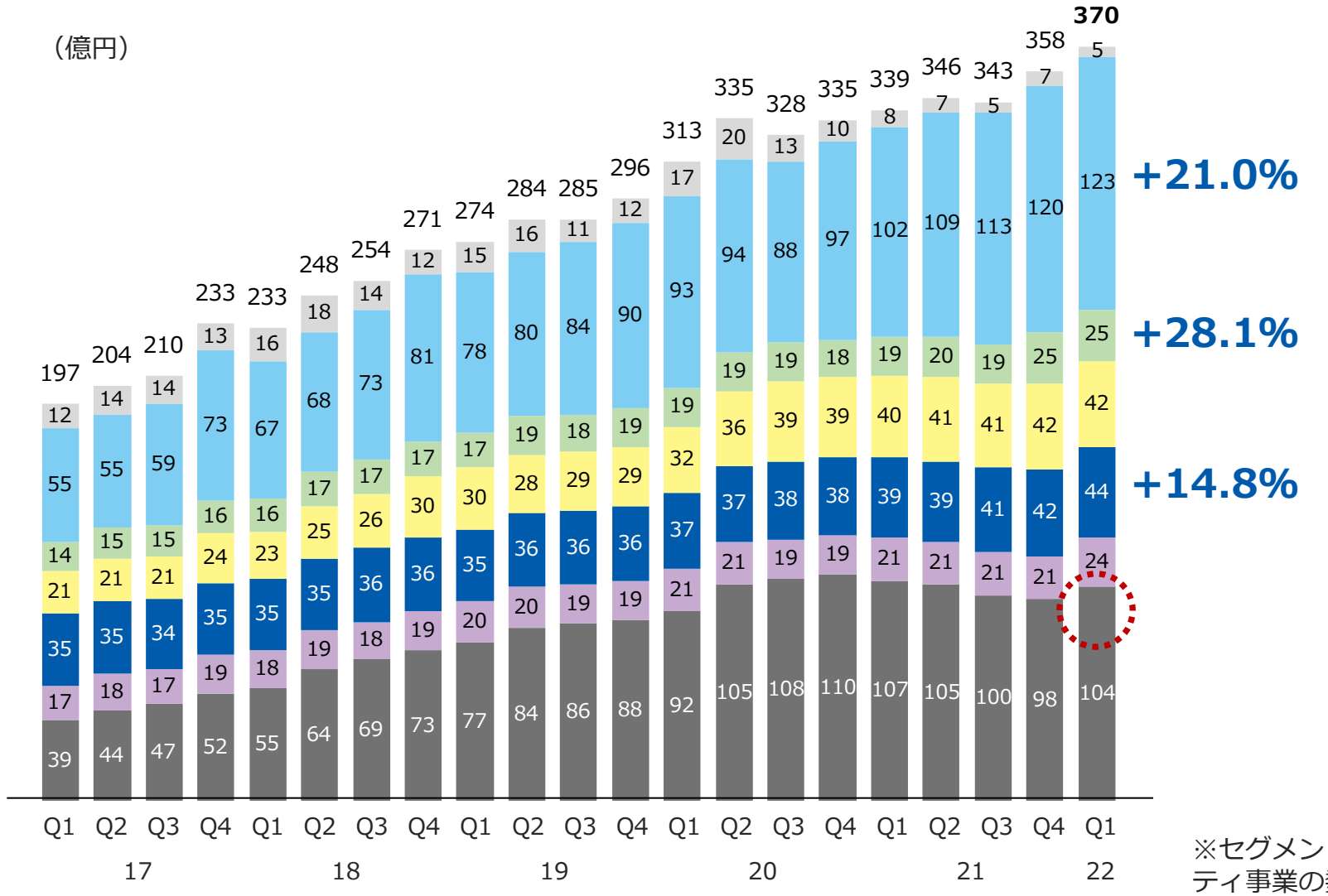
ネットインフラ｜No.1サービスの集合体

圧倒的No.1	ドメイン・レジストリ	GMO REGISTRY	国内シェア	82.5%※1
圧倒的No.1	ドメイン・レジストラ	お名前.com / MuuMuu Domain / Value-domain	国内シェア	83.6%※2
No.1	クラウド・ホスティング	お名前.com レンタルサーバー / LOLIPOP! / ConoHa / GMO CLOUD / Value-server	国内シェア	57.2%※3
No.1	ECプラットフォーム	COLOR ME / MakeShop®	有料店舗数	6.4万
No.1	SSLサーバー証明書	GlobalSign	国内シェア	1※4位
No.1	電子印鑑	電子印鑑なら GMOサイン	アカウント数	58万
No.1	サイバーセキュリティ	GMO CYBER SECURITY IERAE	ホワイトハッカー数	1※5位
No.1	決済	GMO PAYMENT GATEWAY / GMO EPSILON	導入店舗数	13.4万※6
No.1	アクセス	とくとくBB by GMO	プロバイダ顧客満足度ランキング	1※7位

※1:国内レジストリシェア当社調べ ※2:国内ドメインシェアICANN調べ ※3:domaintools.com調べ　※4:国別コードNetcraft社調べ
※5:フェルミ推定により　※6:大手デリバリーに係る店舗数を除く　※7:2020年 オリコン顧客満足度ランキングプロバイダ広域企業1位

ネットインフラ｜セグメント別売上高

前年同期比（旧･旧）



最高業績

対前年

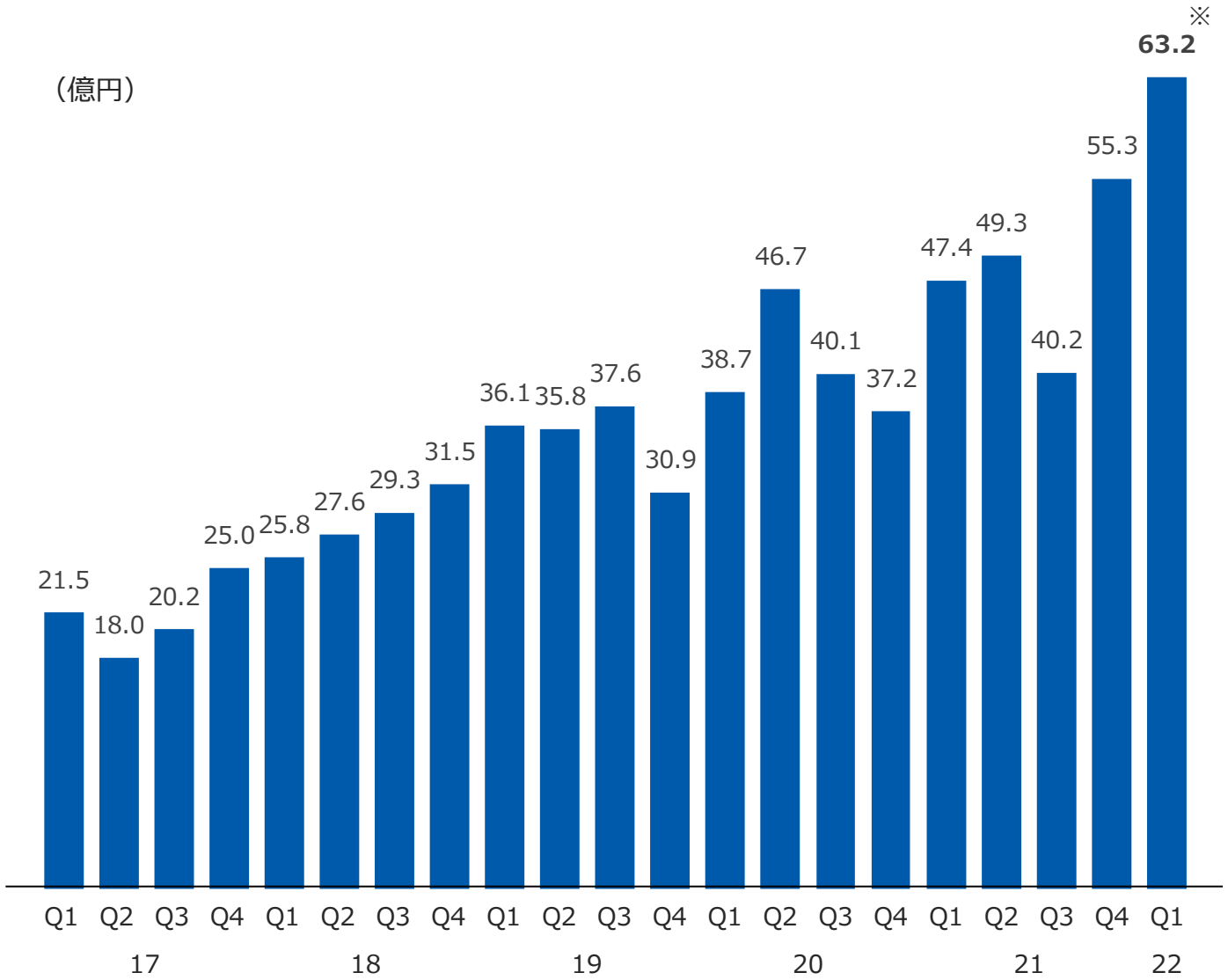
9.2%増

その他
決済
セキュリティ
EC支援
クラウド・ホスティング
ドメイン
アクセス

※セグメント編成変更に伴い、ドメイン事業及びセキュリティ事業の数値を17Q1以降遡及修正

ネットインフラ｜営業利益

前年同期比（旧･旧）



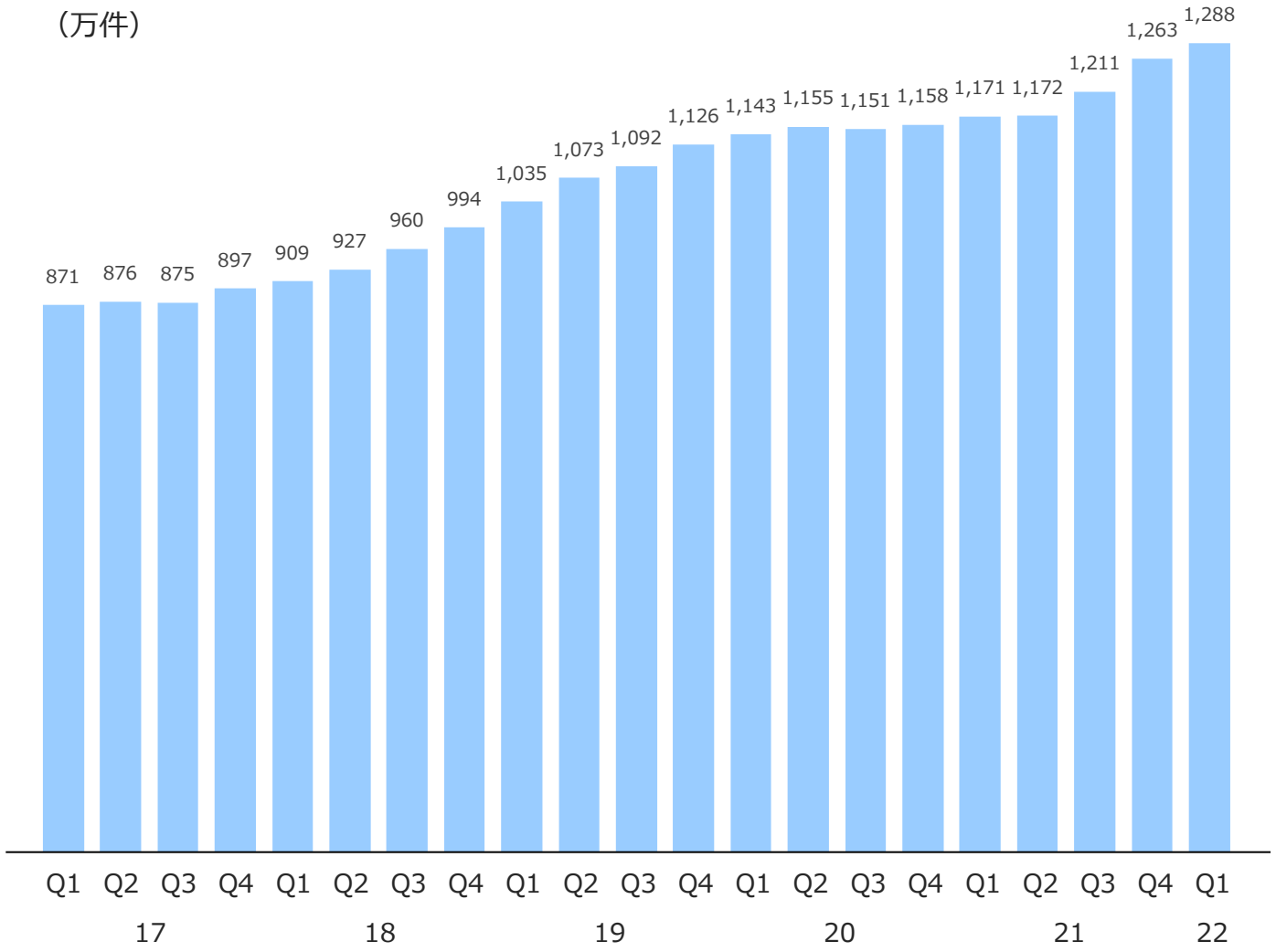
最高業績

対前年

33.3%増

※新収益基準との差異　+0.4億

ネットインフラ｜契約件数



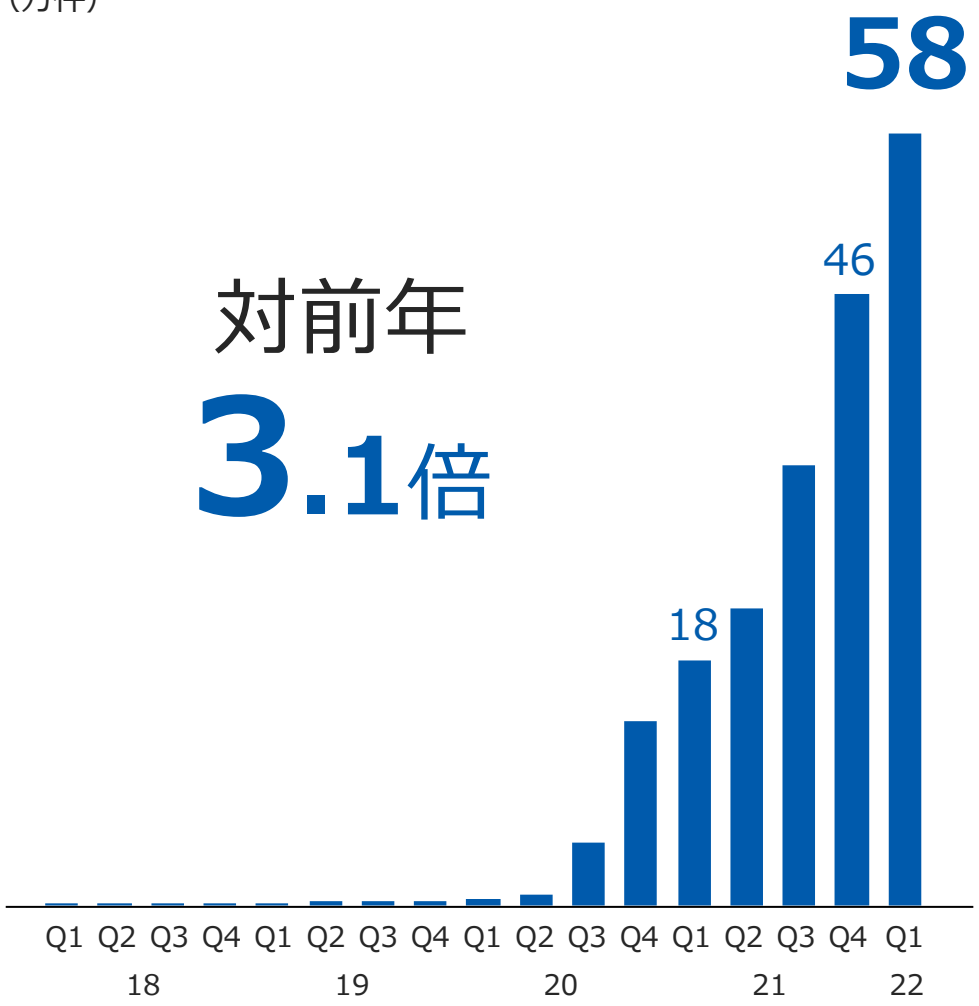
岩盤収益基盤

1,288万顧客

ネットインフラ｜電子印鑑 アカウント数

電子印鑑なら
GMOサイン

（万件）



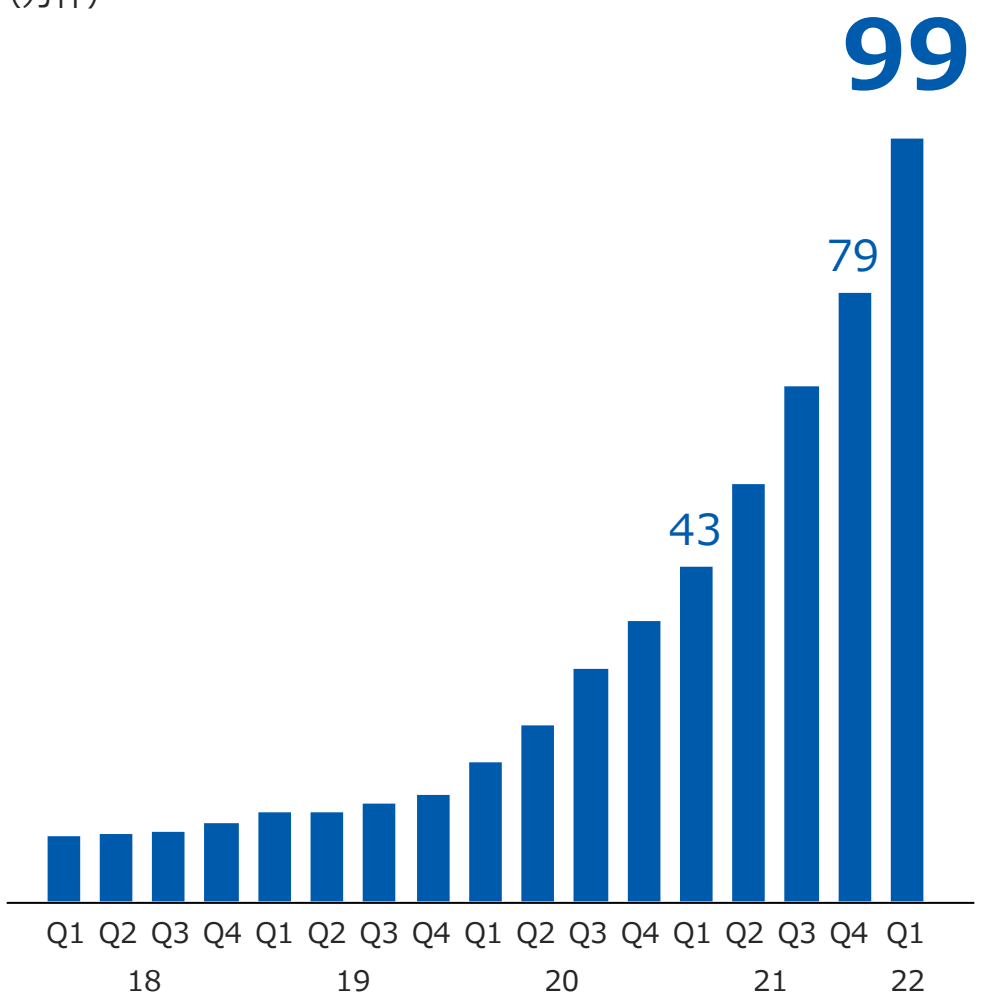
導入企業（一部抜粋）

よろこびがつなぐ世界へ KIRIN / 東急リバブル / MORI TRUST / BMW / 大和証券 Daiwa Securities / bcs 三菱総研グループ / 足利銀行 / PASONA / kikkoman / MIZUNO / ARUHI / mazda / freebit 毎日、発明する会社 / 株式会社サカイ引越センター / JEXER FITNESS CLUB / Daiwa Logistics / フージャース リビングサービス / SILVER LIFE / ダンドリワーク / OPEN HOUSE / ANDPAD / ANA / ANA Business Solutions Co.,Ltd. / Menicon / TRUST BANK / Makuake / Lancers / E-Guardian We Guard All / Faith / NICE / DeNA SOMPO Carlife / PLUS / LINE / coconala / NIPPON STEEL 日鉄物流株式会社 / Anker Innovations JAPAN / 遠州鉄道株式会社 / SEMBA / TIPNESS / TRANSIT GENERAL OFFICE INC. / Francfranc / MTI / SEPTENI / NTEC 株式会社日本サーモエナー / INFINI / Members / COSPA Comfortable Sports Space / GLOBIS / UNITED ARROWS LTD. / hotto link / HT HEALTHCARE TECHNOLOGIES

ネットインフラ｜電子印鑑 契約送信数

電子印鑑なら
GMOサイン

（万件）



対前年
2.3倍

電子印鑑なら
GMOサイン

12の自治体・団体での採用が確定※

～GMOサイン for行革DXで業務効率化を推進～

横須賀市 Yokosuka City

群馬県

豊中市 Toyonaka City

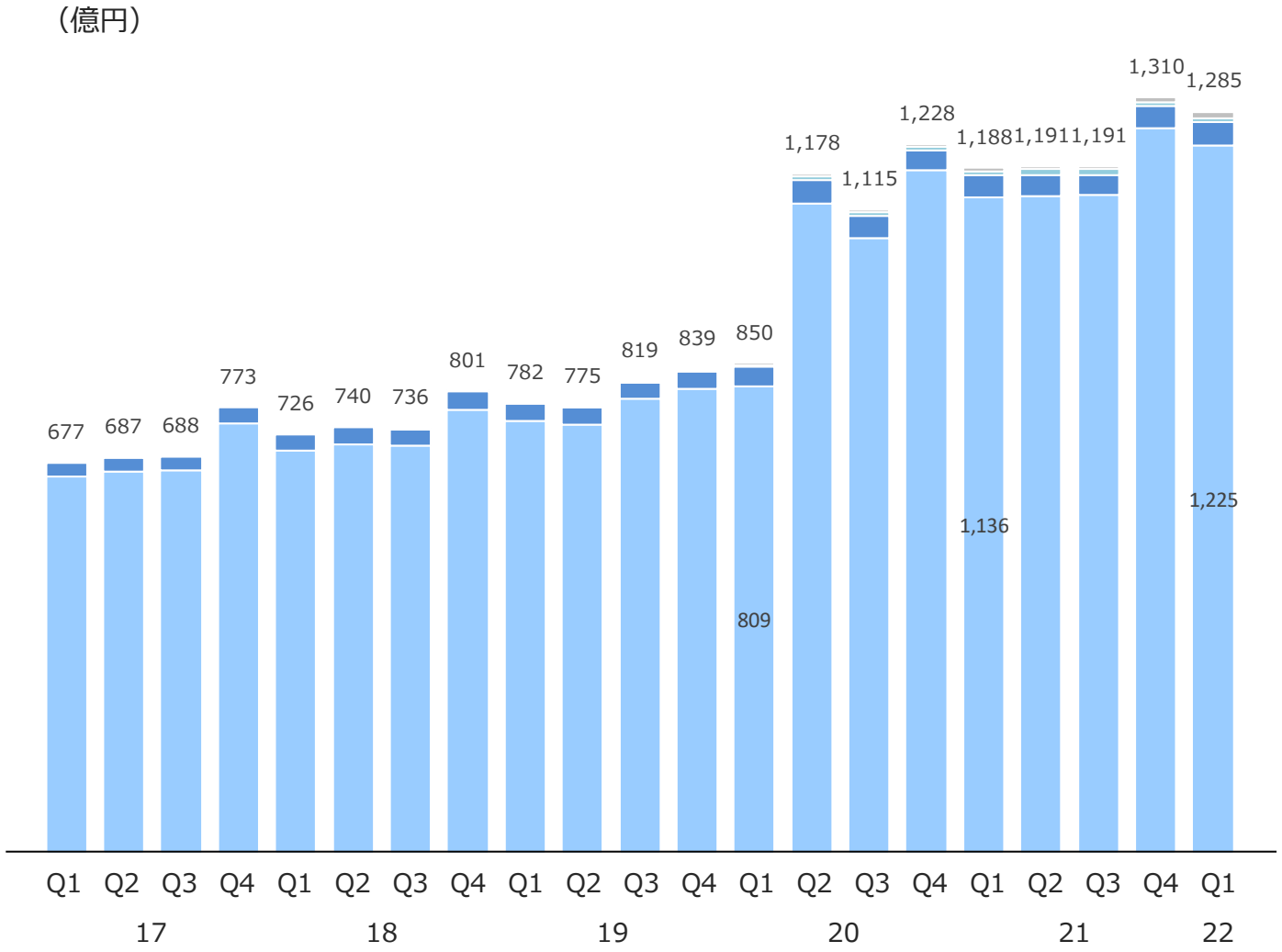
茅ヶ崎市 CHIGASAKI CITY

三重県 いなべ市 Inabe City

NEDO 新エネルギー・産業技術総合開発機構 New Energy and Industrial Technology Development Organization

※2022年5月時点

ネットインフラ｜EC支援事業 流通額



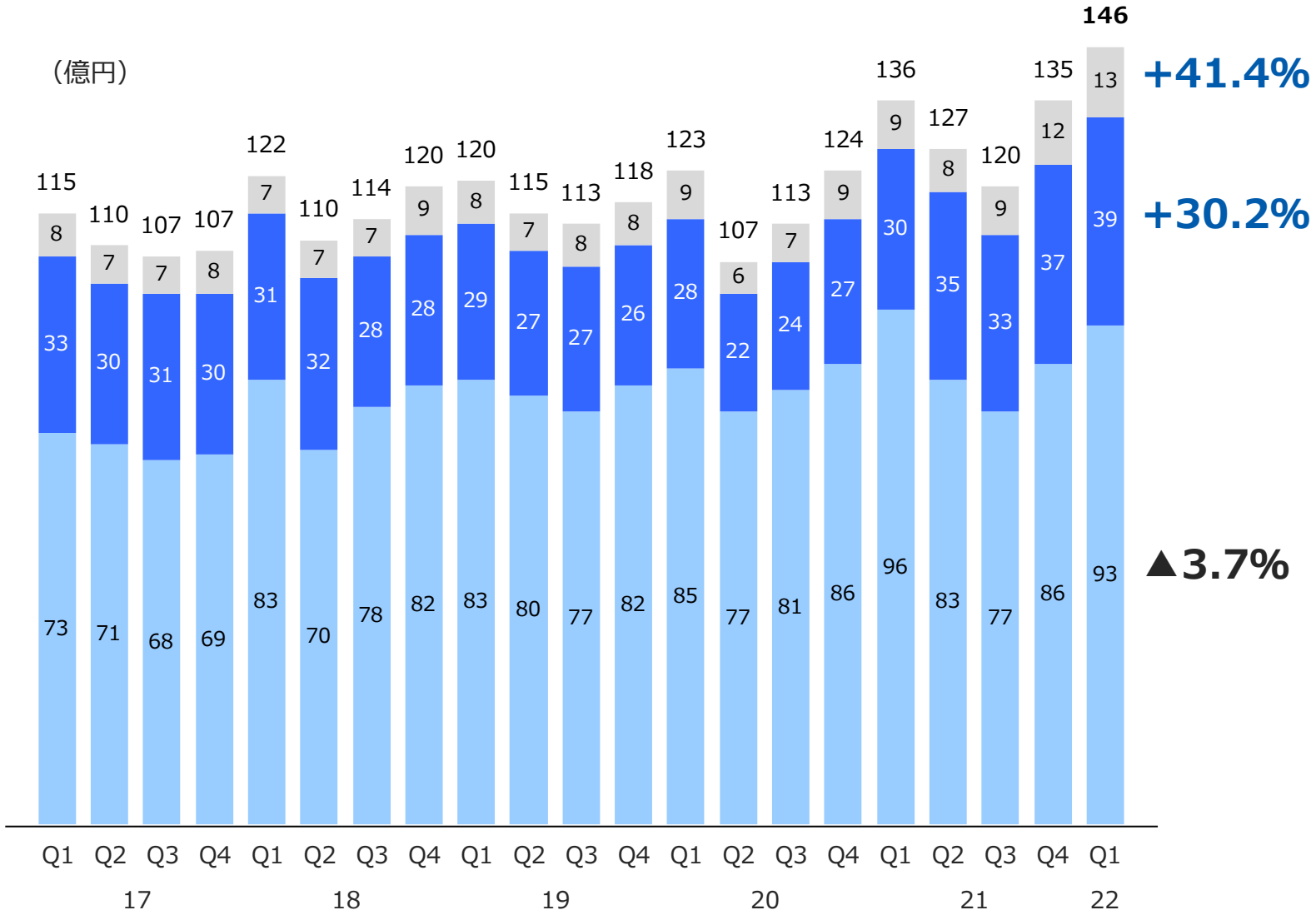
対前年

8.2%増

１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
４．戦略的取り組み

ネット広告・メディア｜セグメント別売上高

前年同期比（旧･旧）



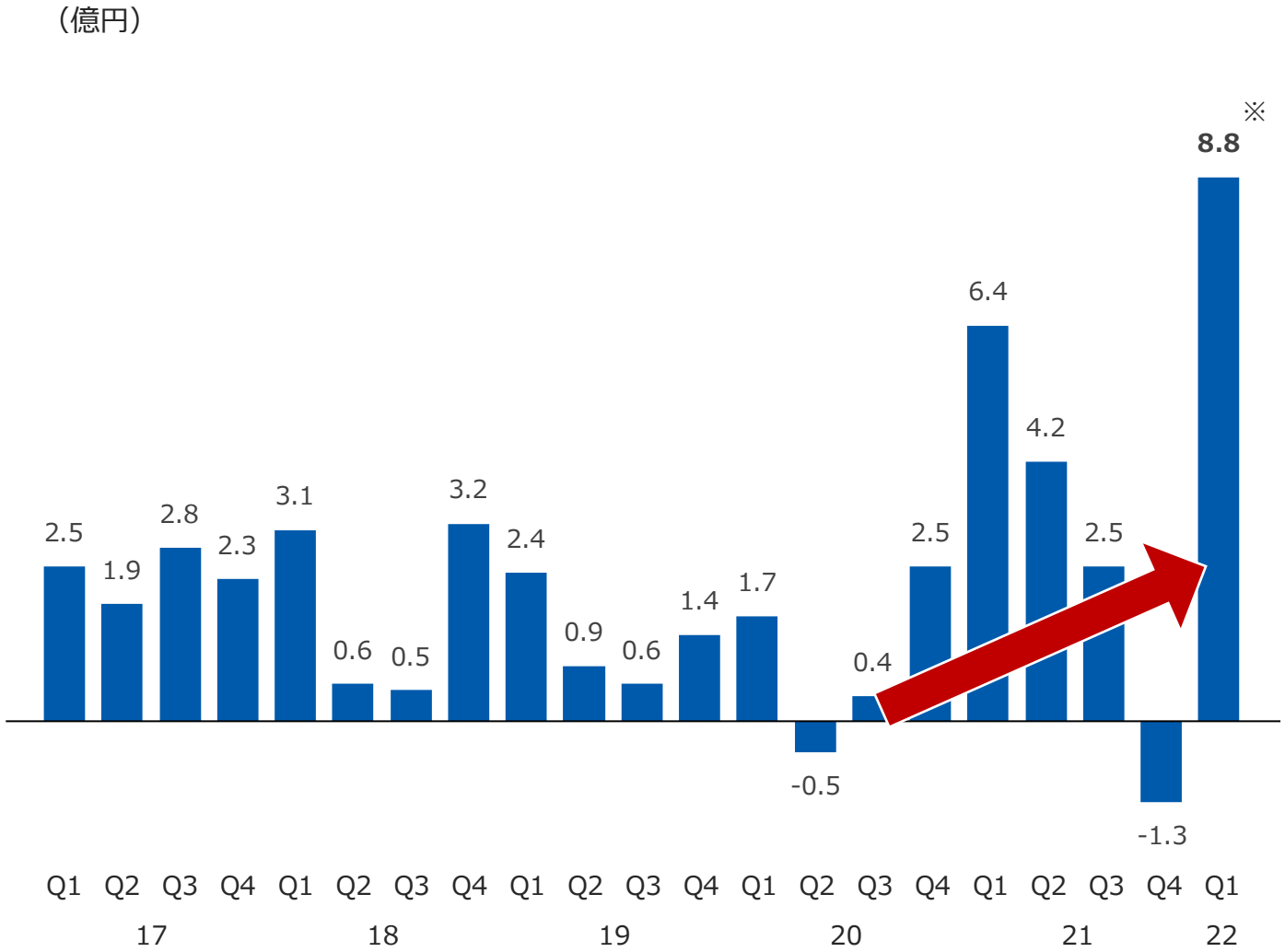
最高業績

対前年

6.9%増

ネット広告・メディア｜営業利益

前年同期比（旧･旧）



最高業績

対前年

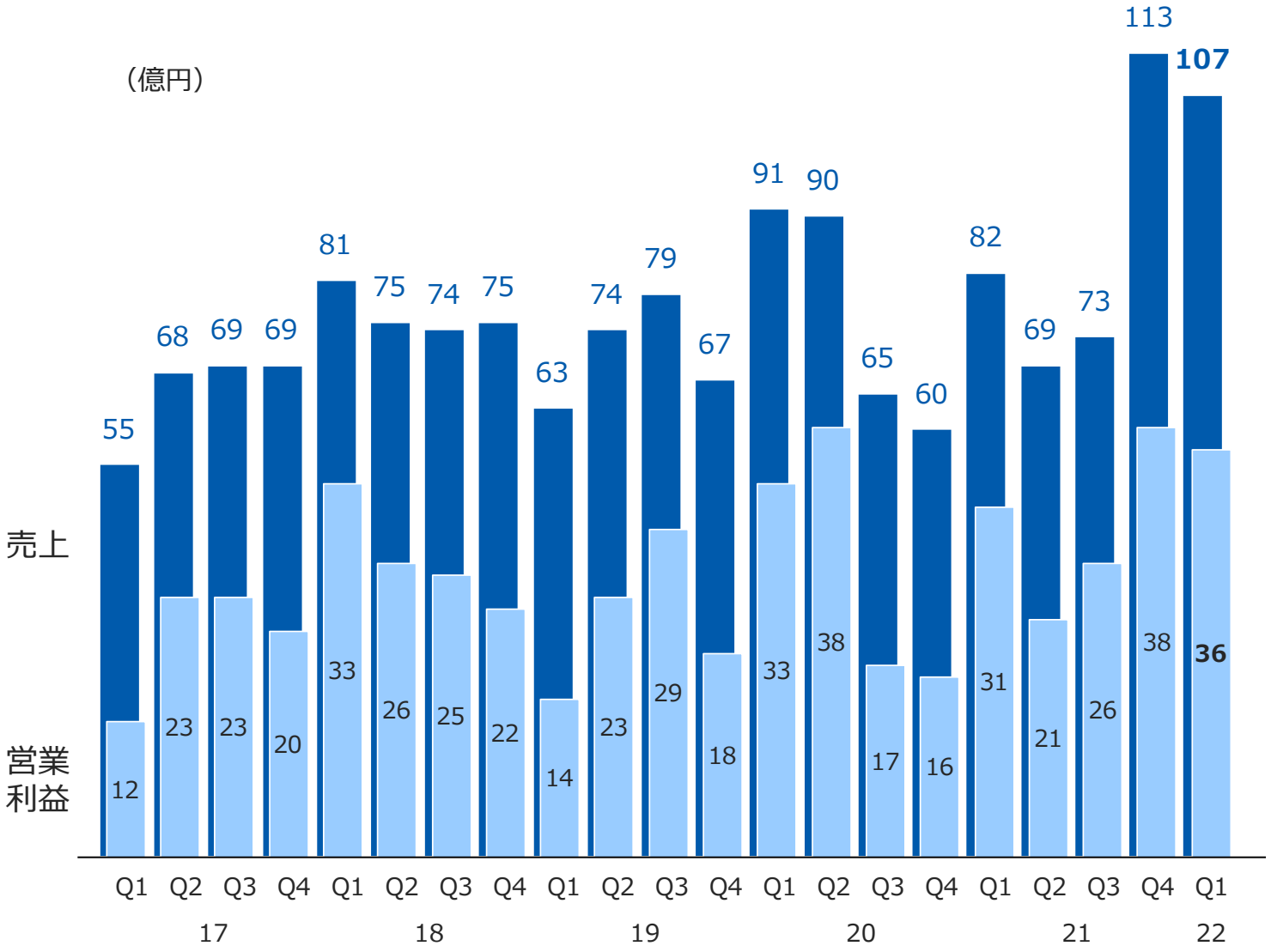
37.7%増

※新収益基準との差異　▲0.4億

１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
４．戦略的取り組み

ネット金融｜四半期業績推移

前年同期比（旧・新）

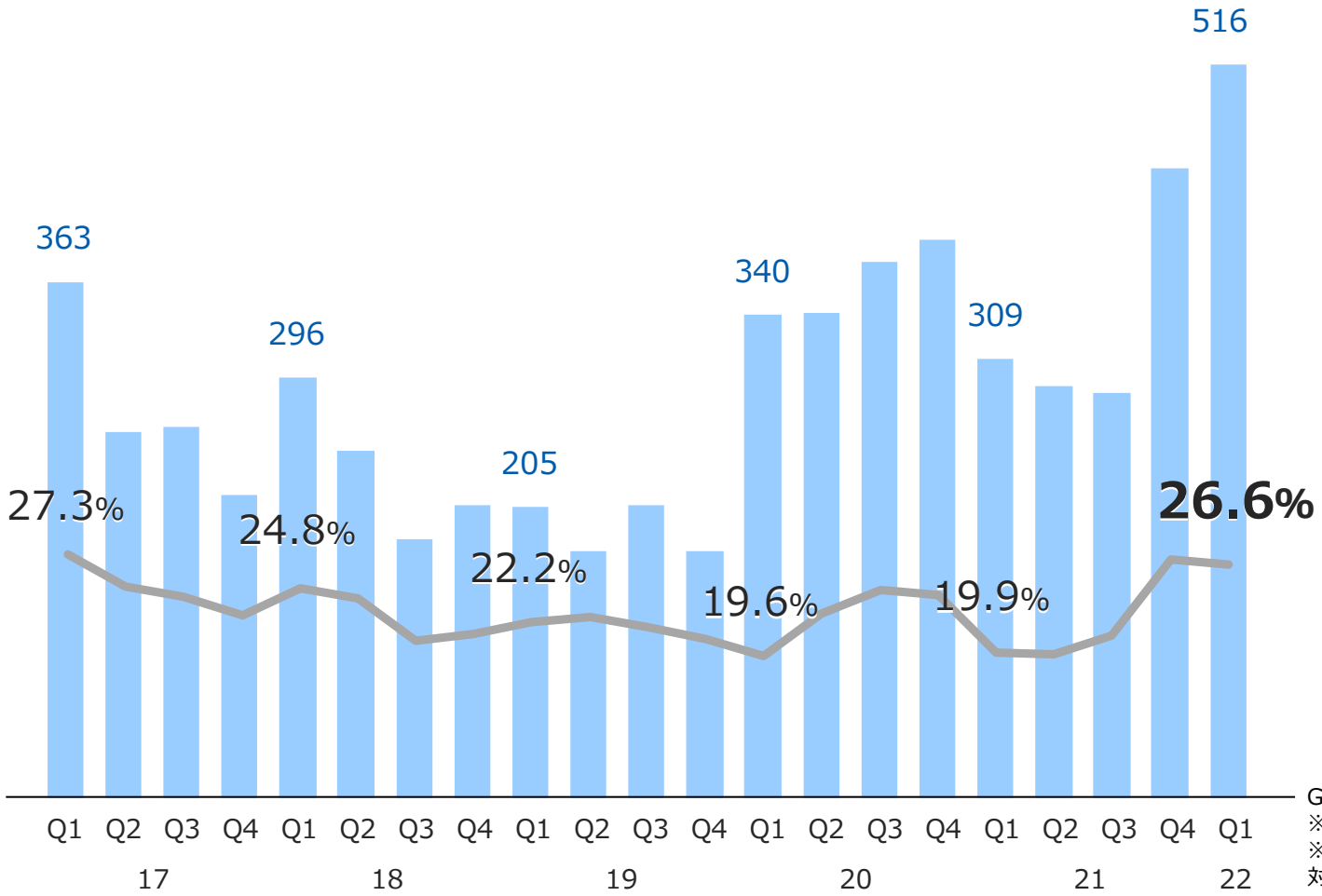


対前年

31.2%増収

17.7%増益

ネット金融｜FX事業 取引高・マーケットシェア



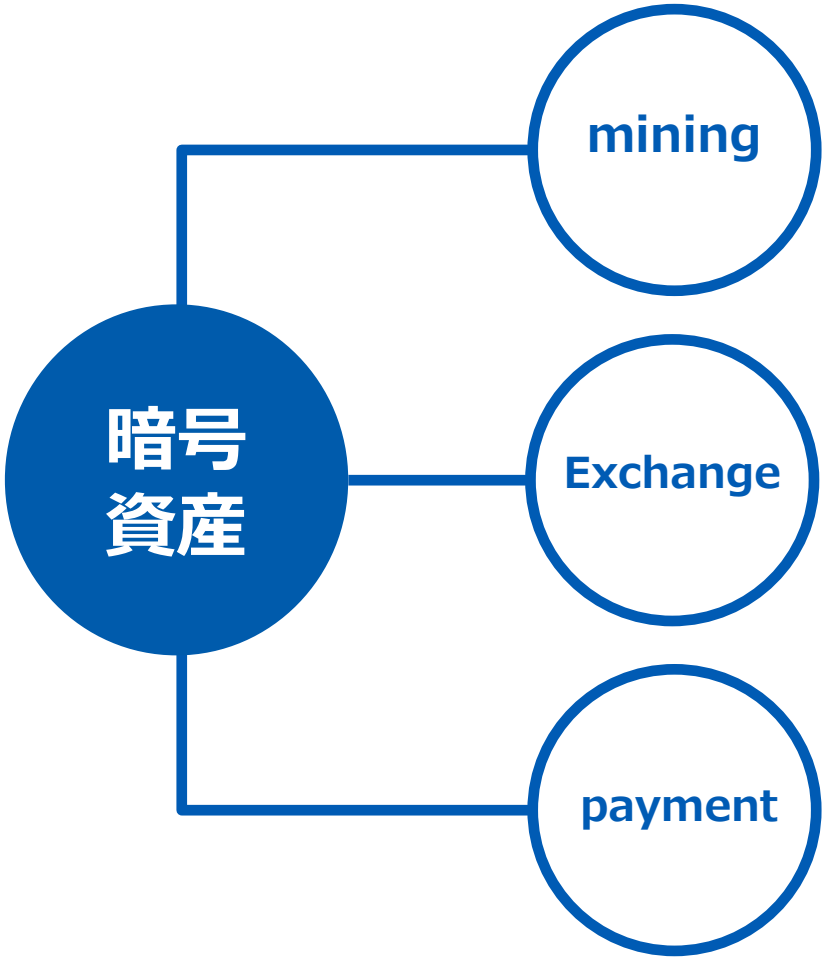
国内シェア

No.1

GMO-FH_決算説明会資料及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成
※1:GMOクリック証券、FXプライムbyGMO、外貨ex byGMOの取引高合算数値
※2:グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として対象3ヶ月間の売上高の合算にて算出

１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
４．戦略的取り組み

暗号資産事業



暗号資産マイニング事業

暗号資産交換事業

GMOコイン

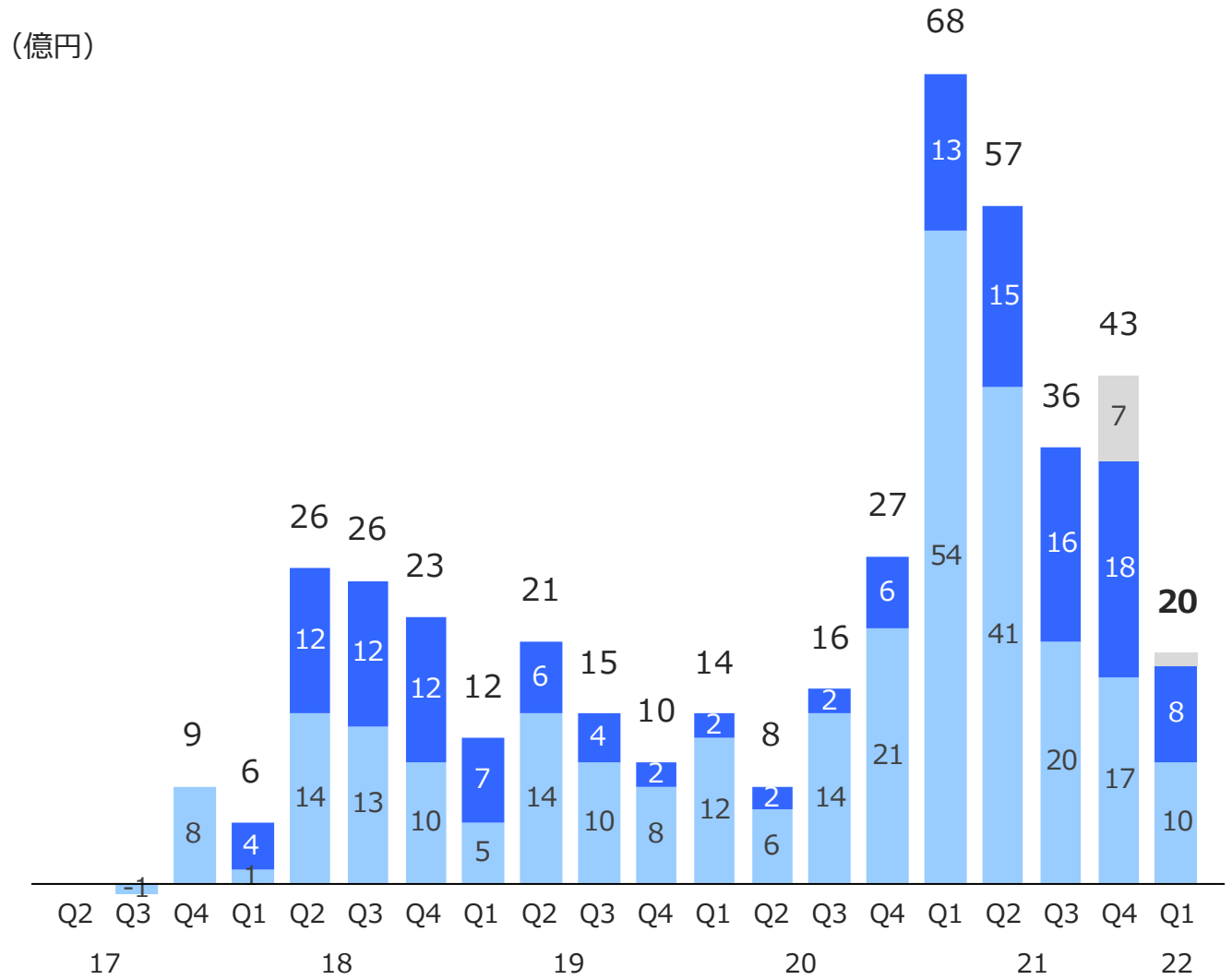
暗号資産決済事業

└ステーブルコイン発行

GYEN Digital JPY　ZUSD Digital USD

暗号資産事業｜セグメント別売上高

前年同期比（旧・新）

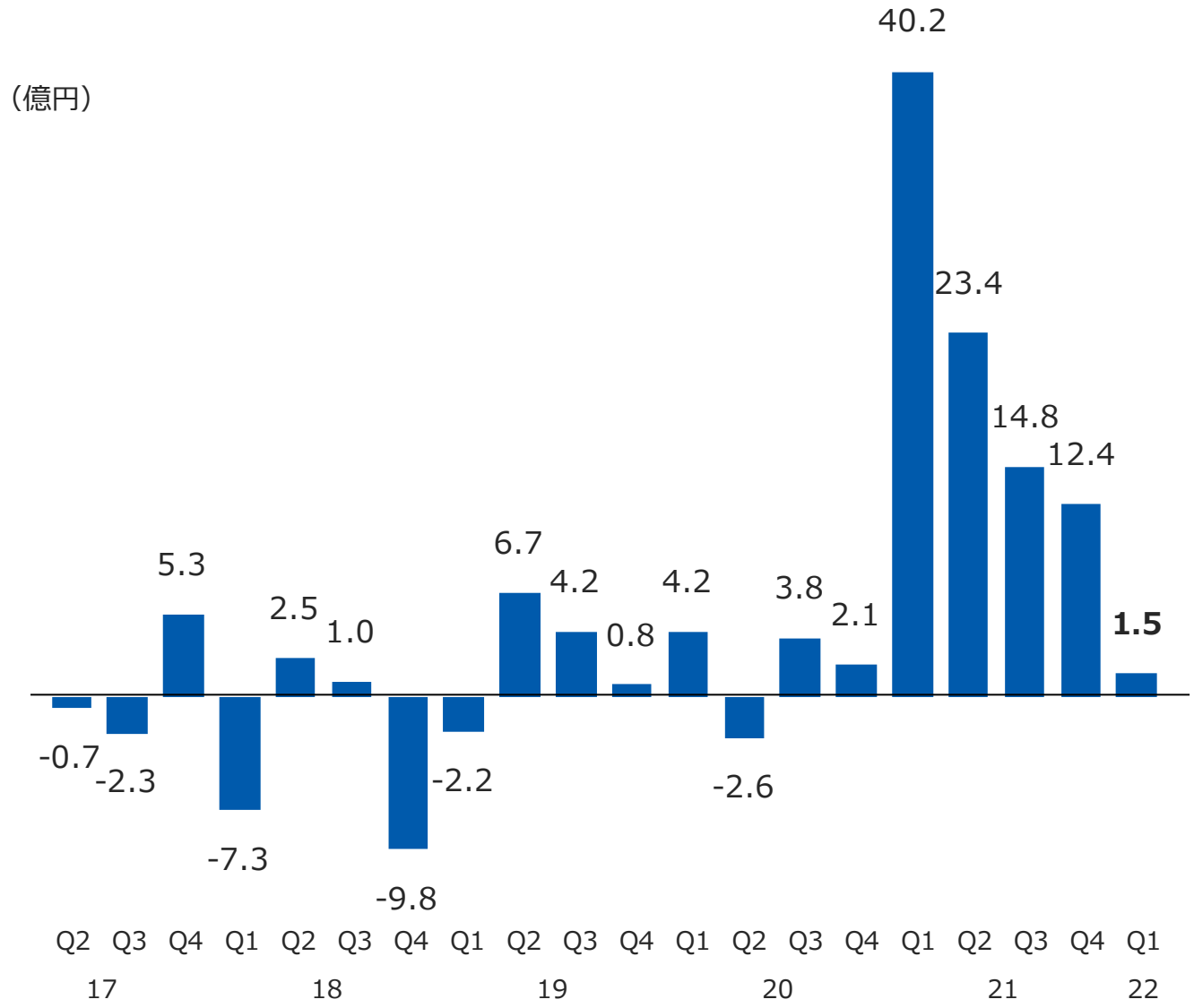


対前年

69.9%減

暗号資産事業｜営業利益

前年同期比（旧･新）



対前年

96.0%減

１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別状況
①グループ概況
②インターネットインフラ事業
③インターネット広告・メディア事業
④インターネット金融事業
⑤暗号資産事業
４．戦略的取り組み

セキュリティ領域の
編成について

社会課題

サイバー攻撃の高度化・巧妙化

すべての人に
安心・安全なインターネットを

セキュリティ事業｜3つの領域

①暗号セキュリティ

GlobalSign®

電子印鑑なら
GMOサイン

②サイバーセキュリティ

GMO CYBER SECURITY IERAE ※1

③ブランドセキュリティ

GMO BRAND&SECURITY ※2

※1:22Q2以降PL連結　※2:5/11商号変更（旧商号：GMOブライツコンサルティング）、ドメイン事業から移管

①暗号セキュリティ事業｜強み

GlobalSign®

電子印鑑なら
GMOサイン

世界展開する唯一の国産認証局

②サイバーセキュリティ事業｜強み

GMO CYBER SECURITY
IERAE

日本最強のホワイトハッカー集団

③ブランドセキュリティ事業｜強み

GMO BRAND&SECURITY※

ドメイン・商標のプロが
企業・サービスブランドを保護

※5/11商号変更（旧商号：GMOブライツコンサルティング）

セキュリティ課題をワンストップで
解決する唯一の上場企業グループへ

すべての人にインターネット

GMO

GMO INTERNET

2022年12月期 第2四半期決算発表は 2022年8月9日15時以降を予定しております。

本資料には、2022年5月12日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動、暗号資産の価格変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

Copyright (C) 2022　GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.

Appendix

グループ概況

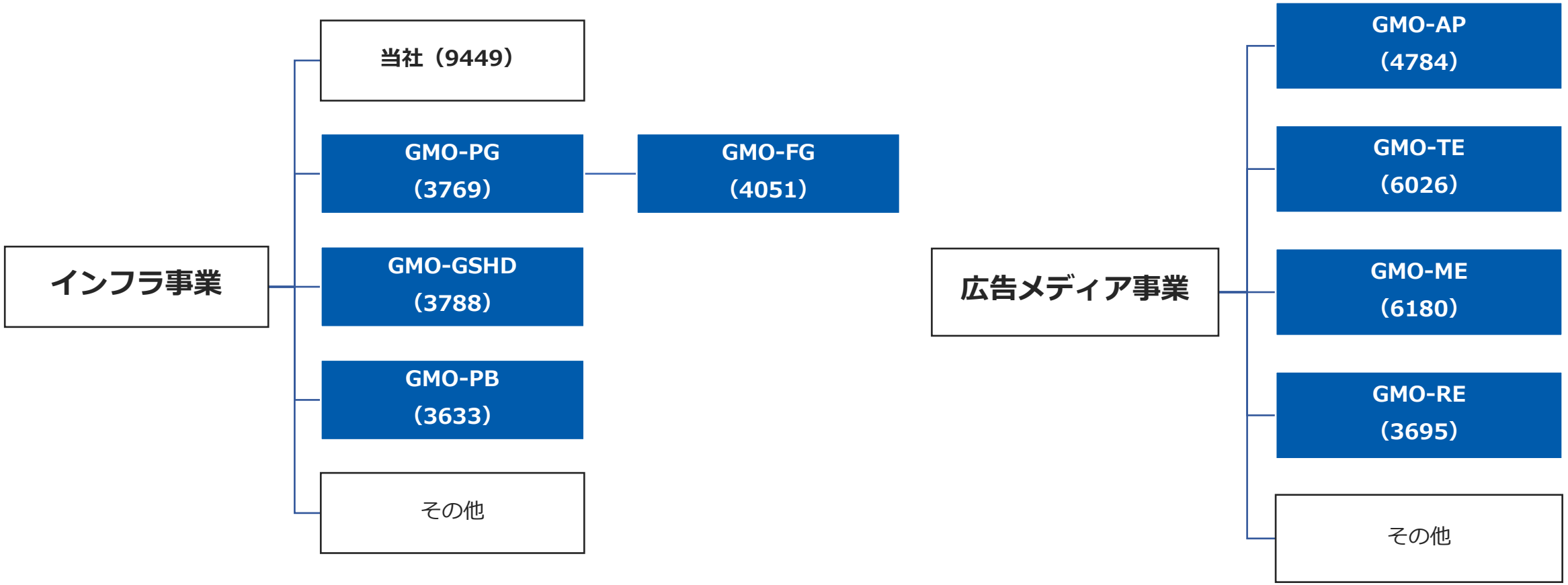
プライム　　：4社
スタンダード　：2社
グロース　　：4社

グループ時価総額

1兆2,610億円

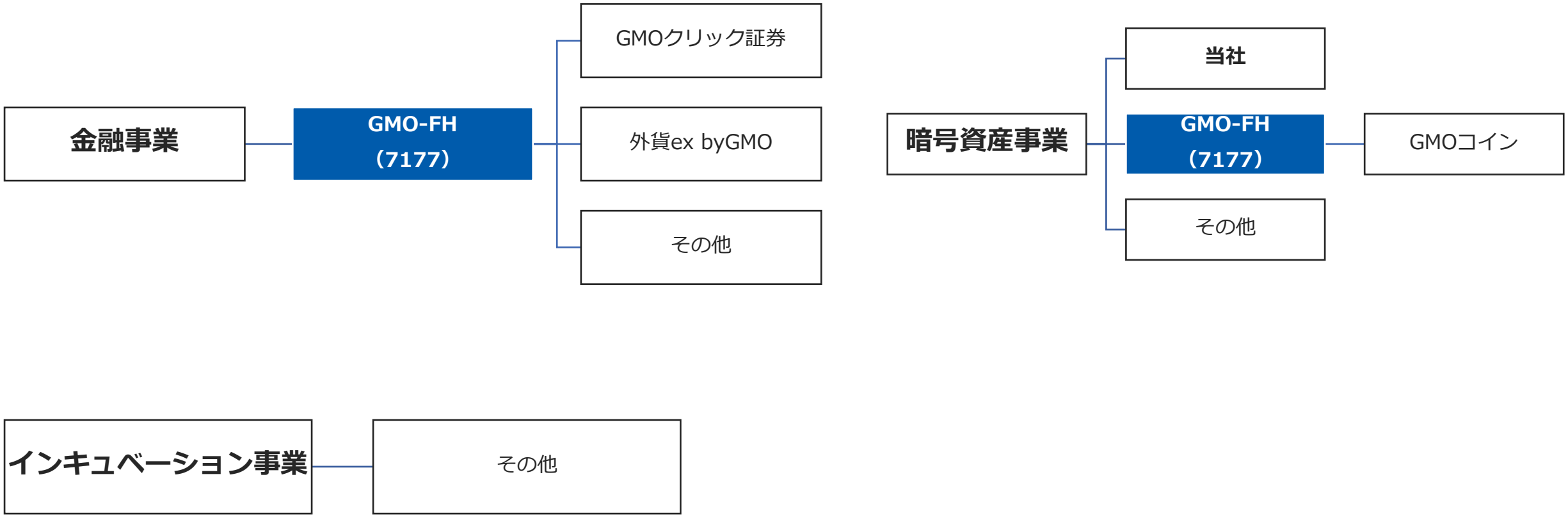
※時価総額は2022年5月11日時点

グループ概況｜ストラクチャー（1/2）



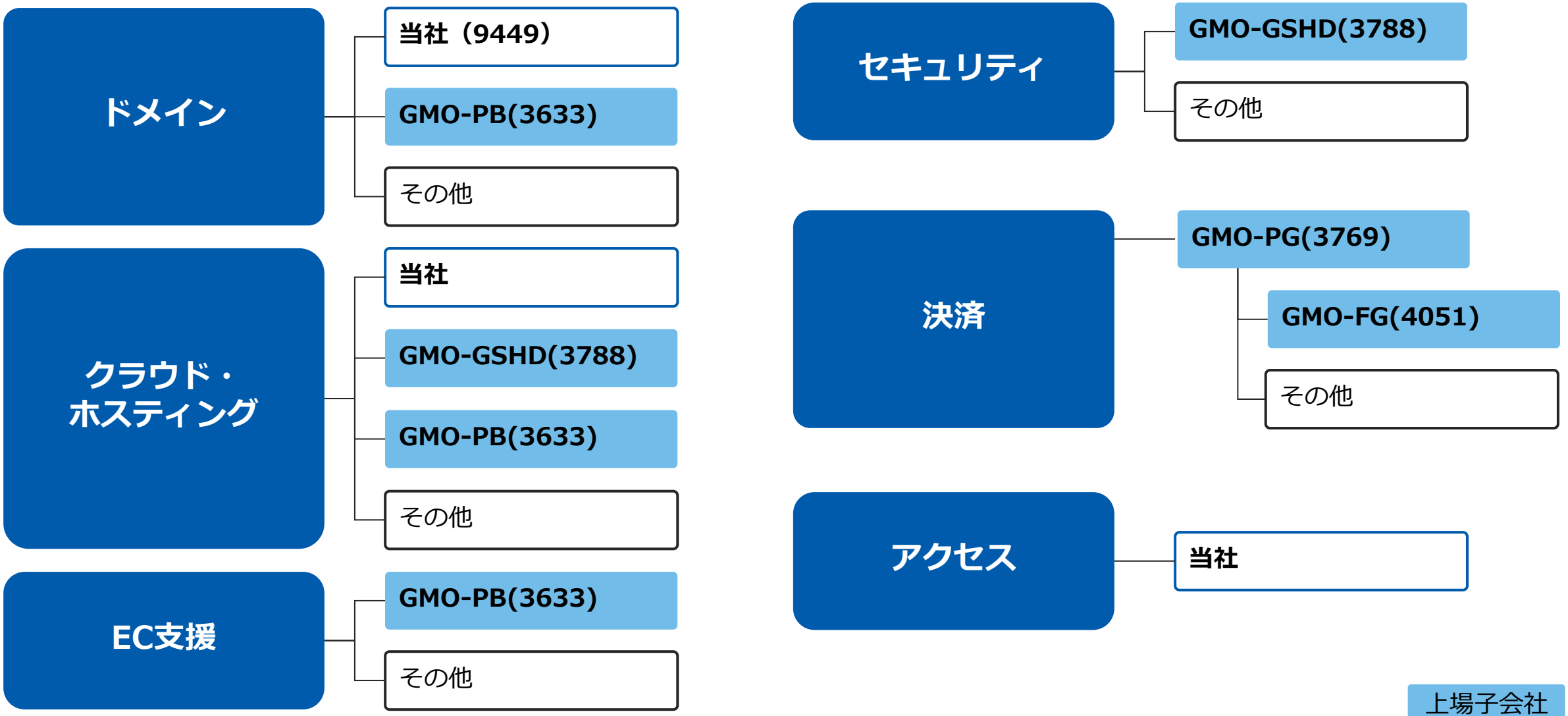
上場子会社

グループ概況｜ストラクチャー（2/2）



上場子会社

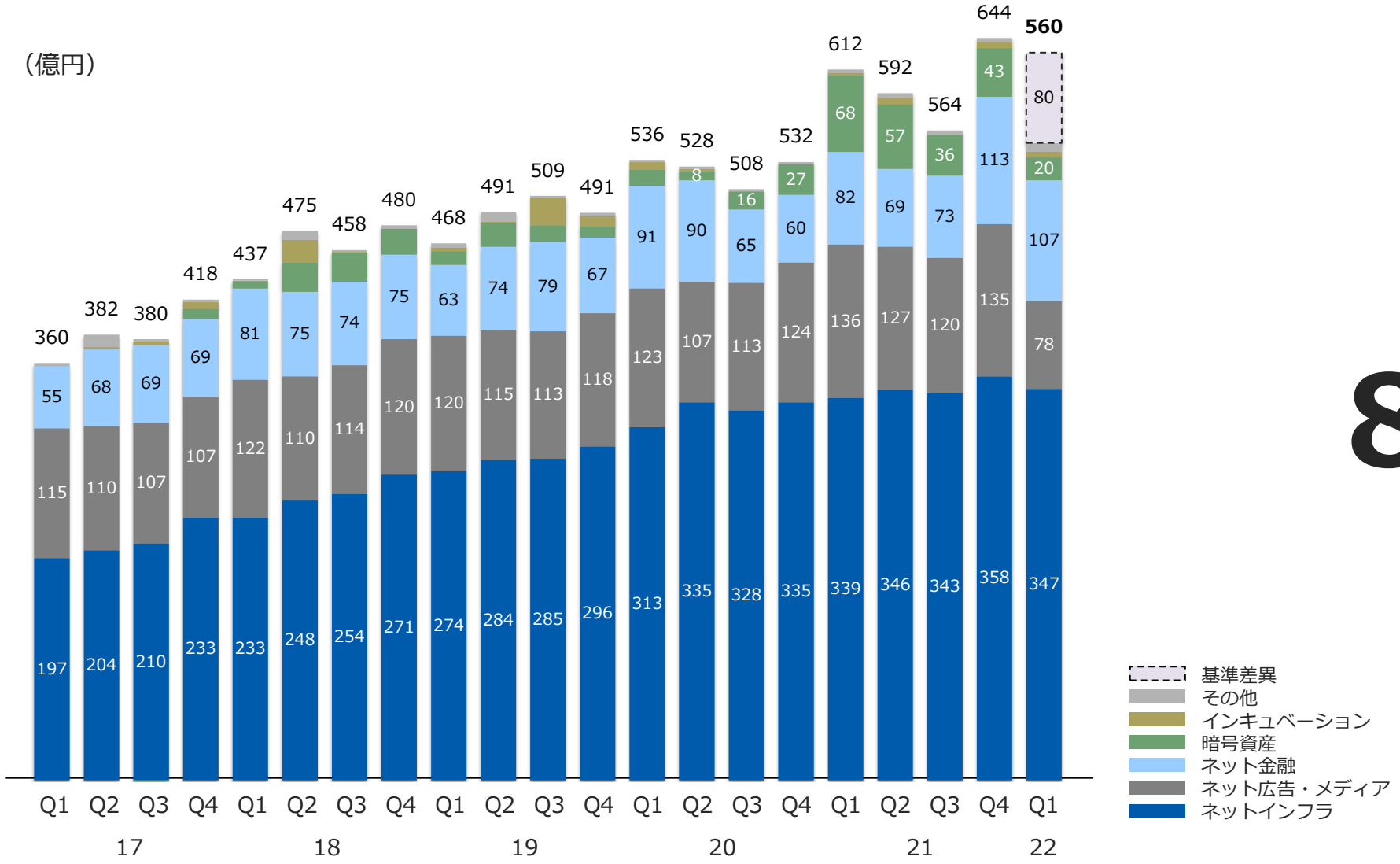
ネットインフラ｜事業運営体制



上場子会社

セグメント別売上高

前年同期比（旧・新）



対前年

8.5%減

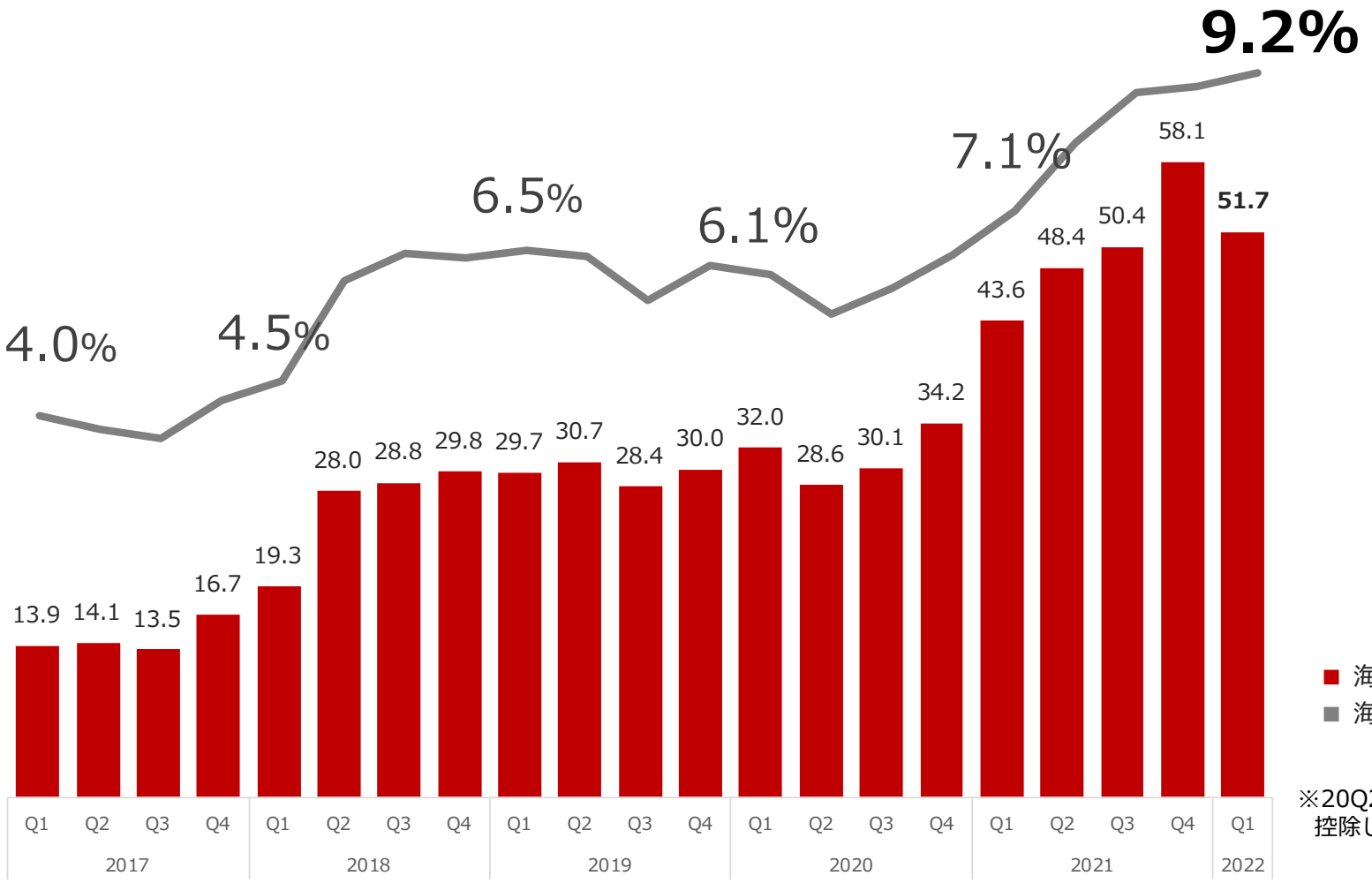
BSサマリー

(億円)	2021年 12月末	**2022年 3月末**	増減	GMO FH (2022年3月末)	単体 (2022年3月末)
流動資産	12,929	**13,542**	612	9,958	998
現金預金	2,401	**2,890**	489	825	675
固定資産	1259	**1332**	72	291	996
のれん	142	**217**	75	107	-
ソフトウェア	101	**110**	8	27	6
投資有価証券	286	**282**	-3	44	523
資産合計	14,189	**14,874**	685	10,249	1,994
負債	12,785	**13,458**	673	9,803	1,753
有利子負債	2,989	**3,400**	410	1,697	1,275
純資産	1,404	**1,416**	12	446	241
非支配株主持分	668	**711**	43	20	-
自己資本	735	**704**	-31	425	241
利益剰余金	357	**360**	2	425	251
(自己資本比率)	5.2%	**4.7%**	-0.5pt	4.1%	12.1%
負債・純資産合計	14,189	**14,874**	685	10,249	1,994

PLサマリー

(億円)	Q1'21 (21年1-3月)	**Q1'22 (22年1-3月)**	増減	補足
売上高	612.4	**560.6**	-8.5%	
売上総利益	329.3	**342.7**	4.1%	
営業利益	124.7	**111.2**	-10.8%	
（営業利益率）	20.4%	**19.8%**	-0.5pt	
営業外損益	10.6	**9.7**	-8.7%	
経常利益	135.4	**120.9**	-10.7%	
特別損益	0.7	**24.9**	2823.6%	
税前利益	136.2	**145.9**	7.2%	
法人税等	48.8	**39.9**	-18.4%	
非支配株主損益	30.7	**41.7**	35.7%	
親会社株主に帰属する純利益	56.5	**64.3**	13.7%	

海外事業｜売上推移



海外売上高

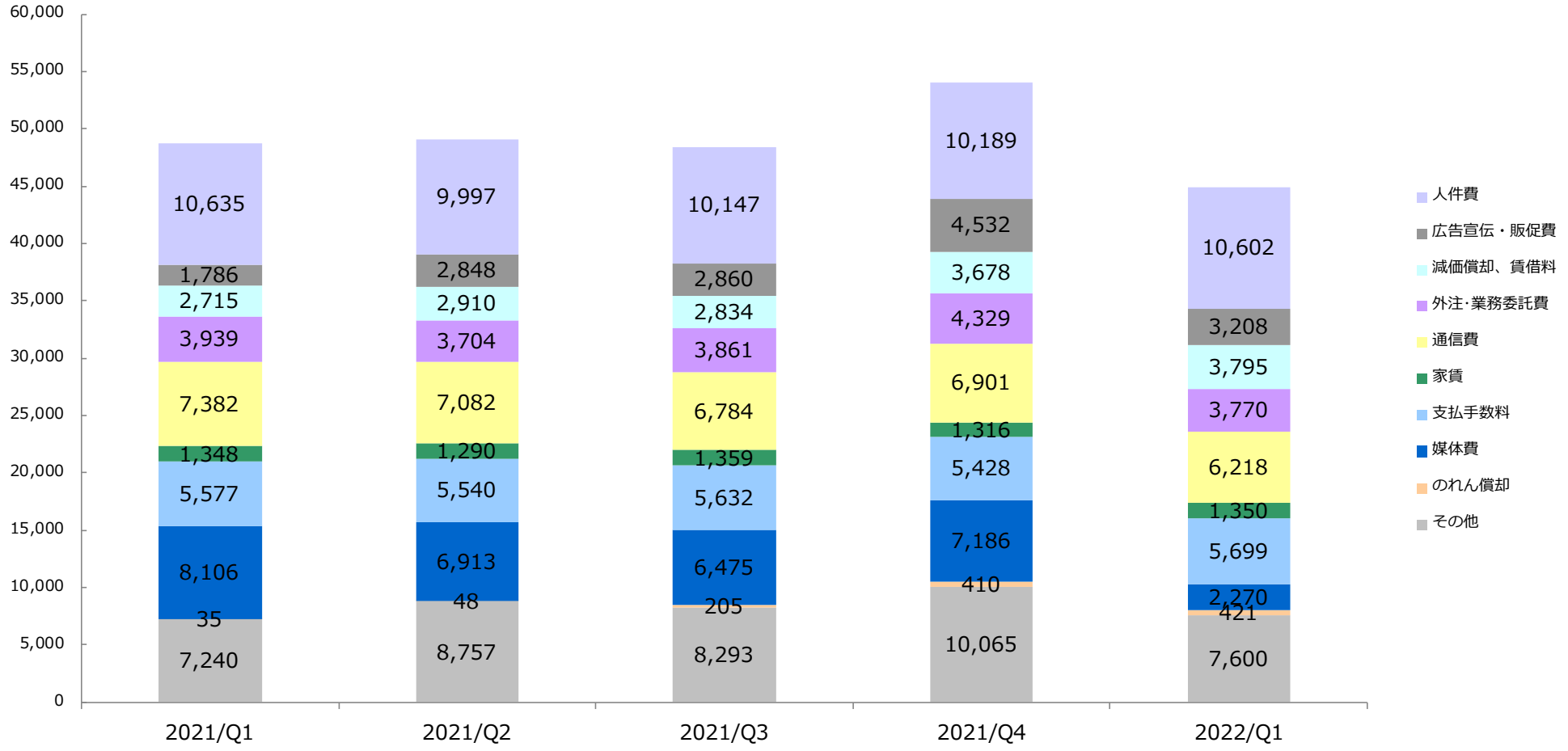
YoY

18.5%増

※20Q2に連結除外したマクロキオスクの数値を17Q1から遡及して控除しています

費用構成の推移

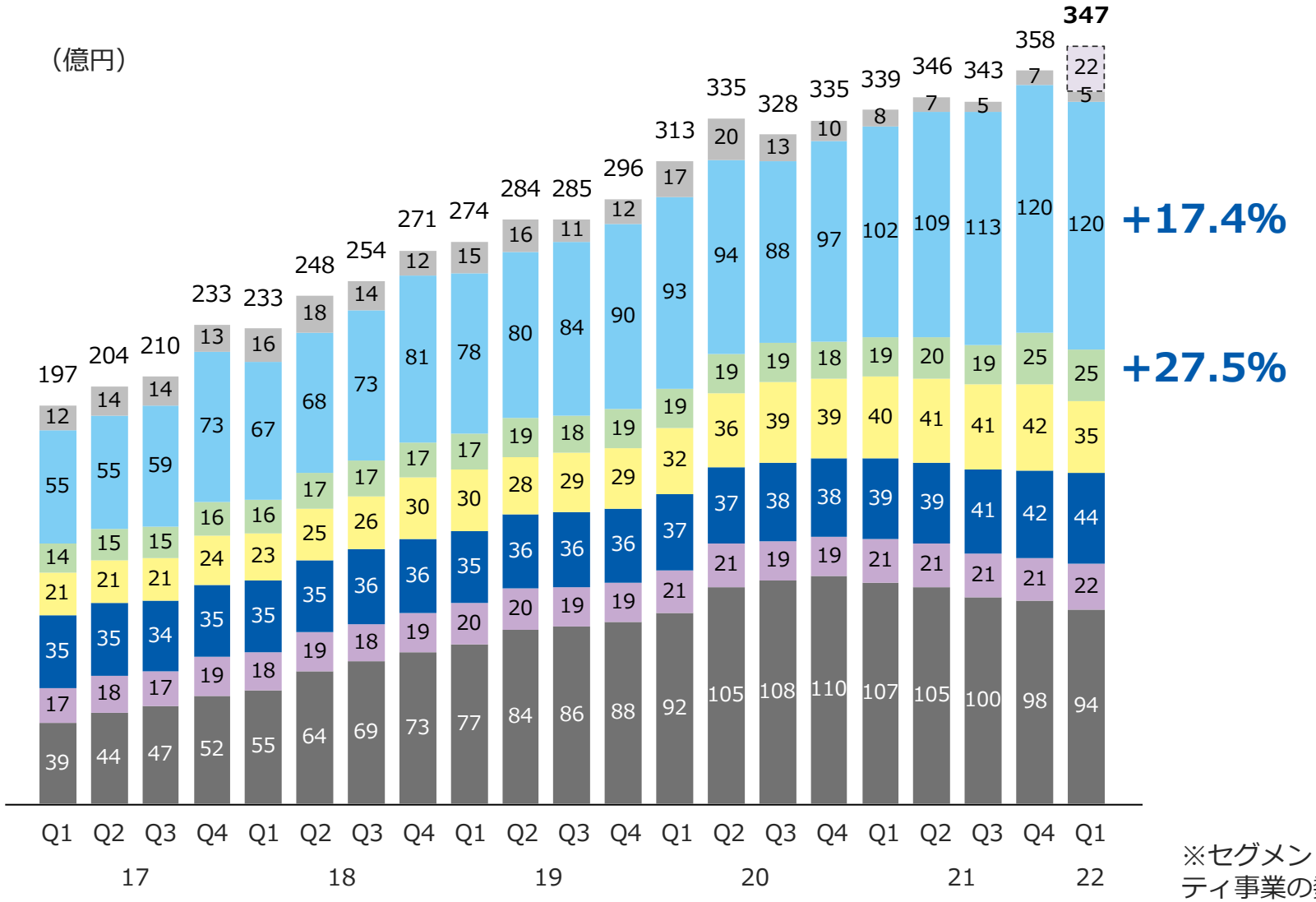
（百万円）


60,000
55,000
50,000
45,000
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
2021/Q1
2021/Q2
2021/Q3
2021/Q4
2022/Q1
10,635
1,786
2,715
3,939
7,382
1,348
5,577
8,106
35
7,240
9,997
2,848
2,910
3,704
7,082
1,290
5,540
6,913
48
8,757
10,147
2,860
2,834
3,861
6,784
1,359
5,632
6,475
205
8,293
10,189
4,532
3,678
4,329
6,901
1,316
5,428
7,186
410
10,065
10,602
3,208
3,795
3,770
6,218
1,350
5,699
2,270
421
7,600
人件費
広告宣伝・販促費
減価償却、賃借料
外注･業務委託費
通信費
家賃
支払手数料
媒体費
のれん償却
その他

インターネットインフラ事業

ネットインフラ｜セグメント別売上高

前年同期比（旧・新）



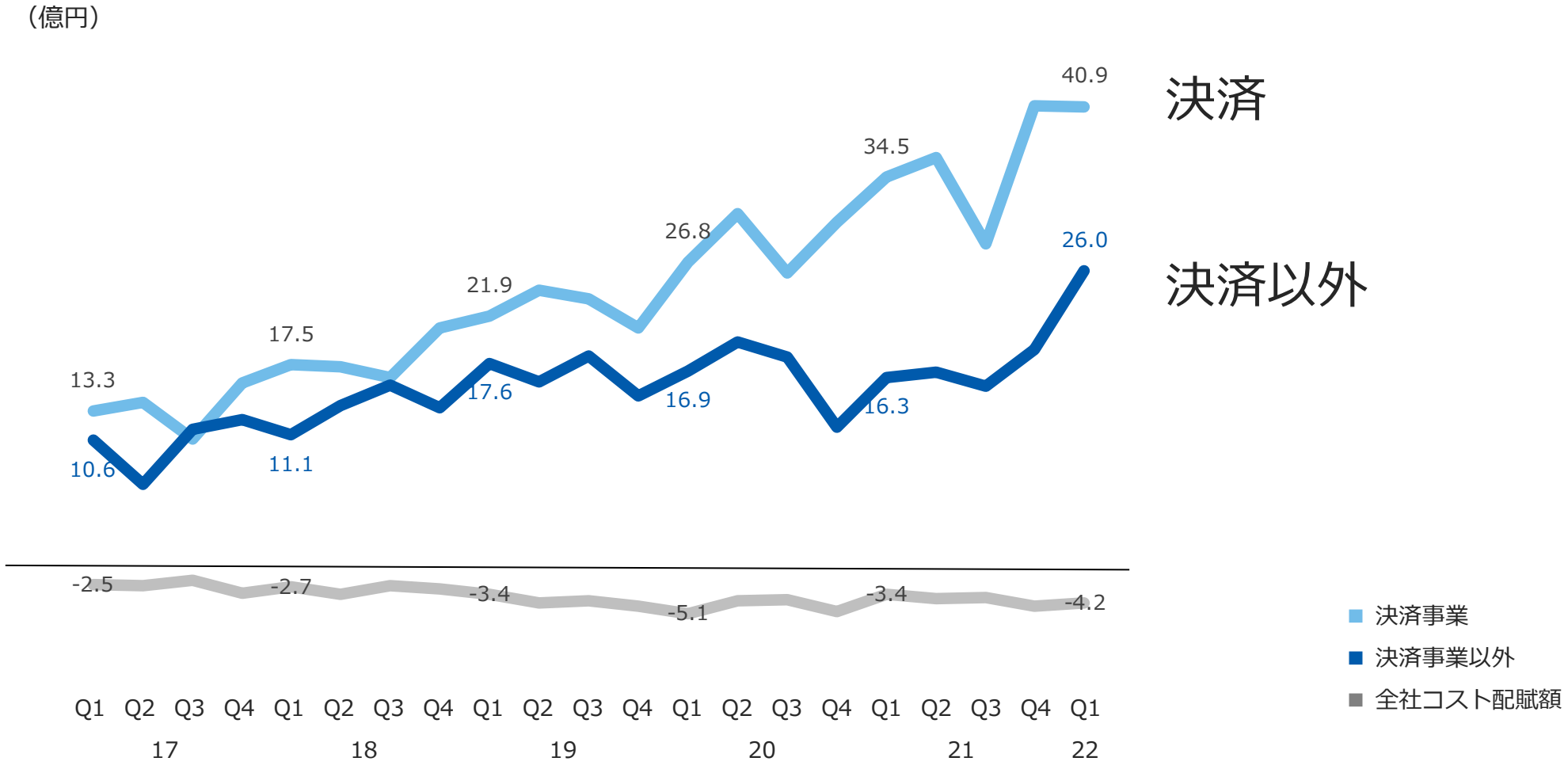
対前年

2.5%増

基準差異
その他
決済
セキュリティ
EC支援
クラウド・ホスティング
ドメイン
アクセス

※セグメント編成変更に伴い、ドメイン事業及びセキュリティ事業の数値を17Q1以降遡及修正

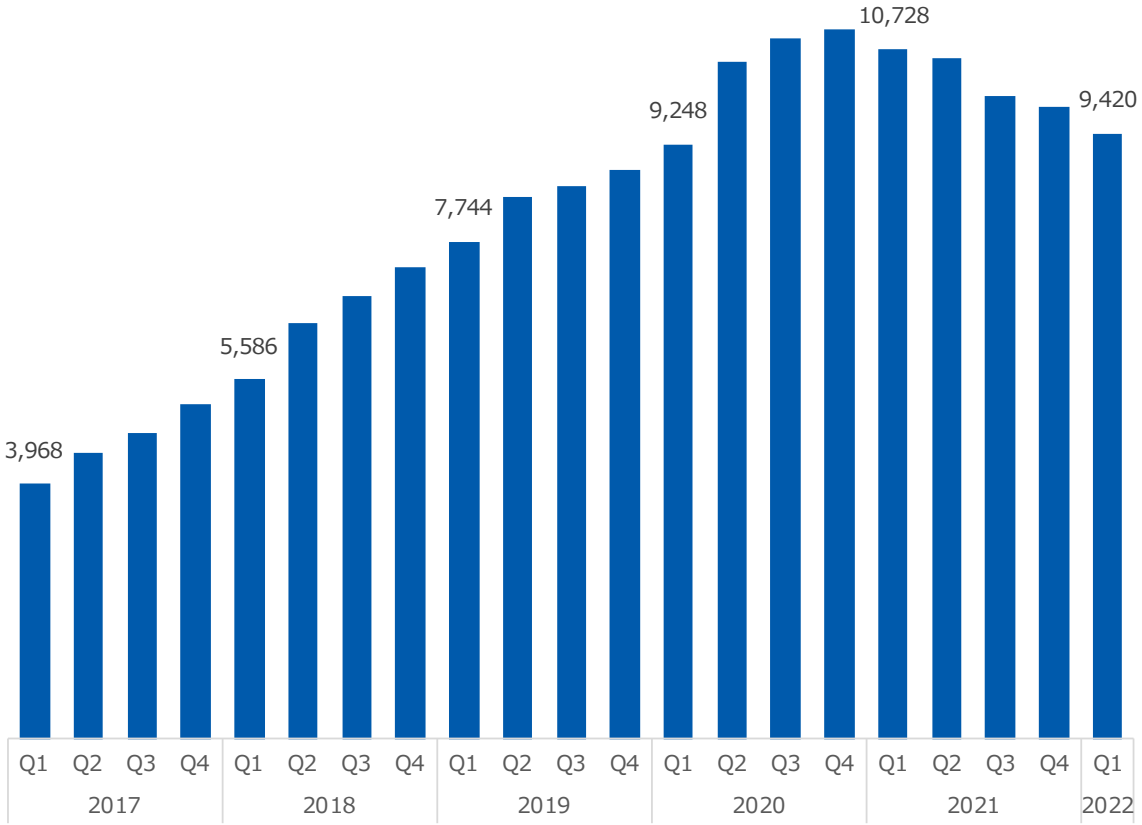
ネットインフラ｜利益構成



ネットインフラ｜アクセス事業KPI

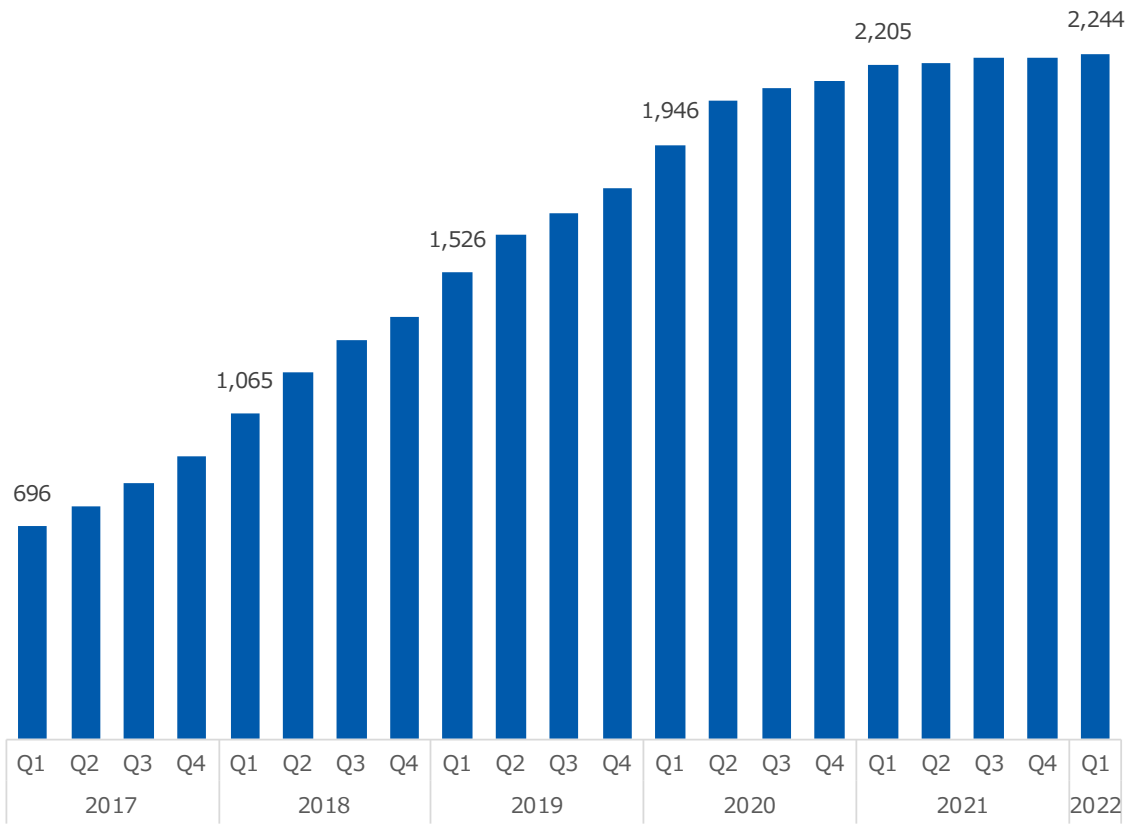
売上高

（百万円）



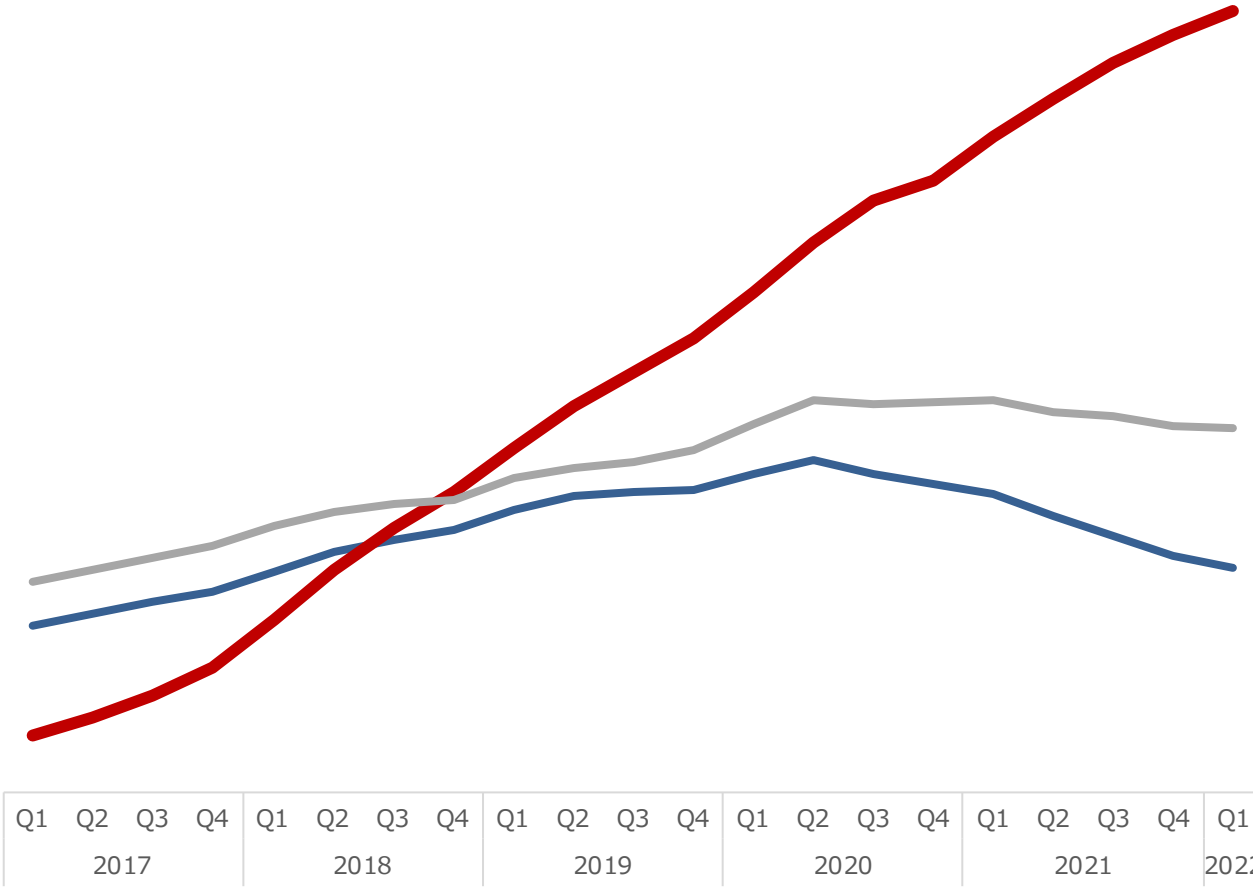
回線数

（千件）



※新収益基準による影響額：2022年Q1　▲1,018百万円

ネットインフラ｜アクセス事業KPI（製品別回線数）



光回線

GMO光アクセス

(2021年7月～)

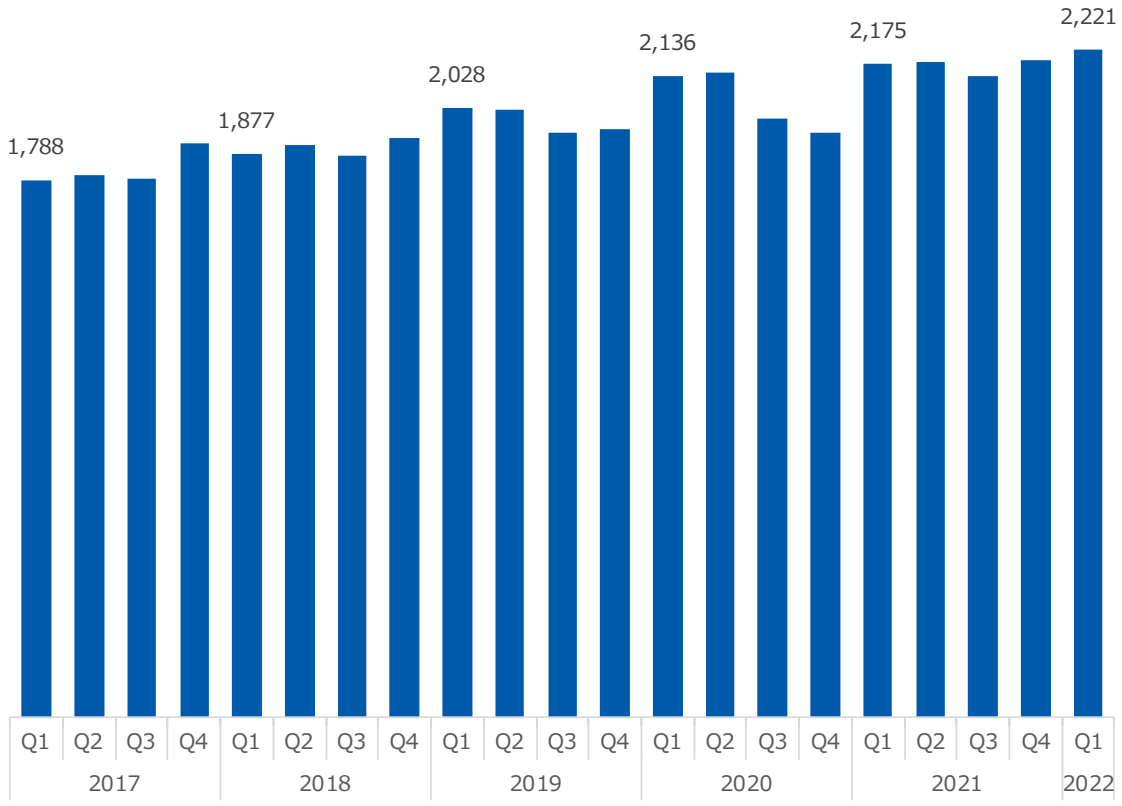
その他

モバイル

ネットインフラ｜ドメイン事業KPI

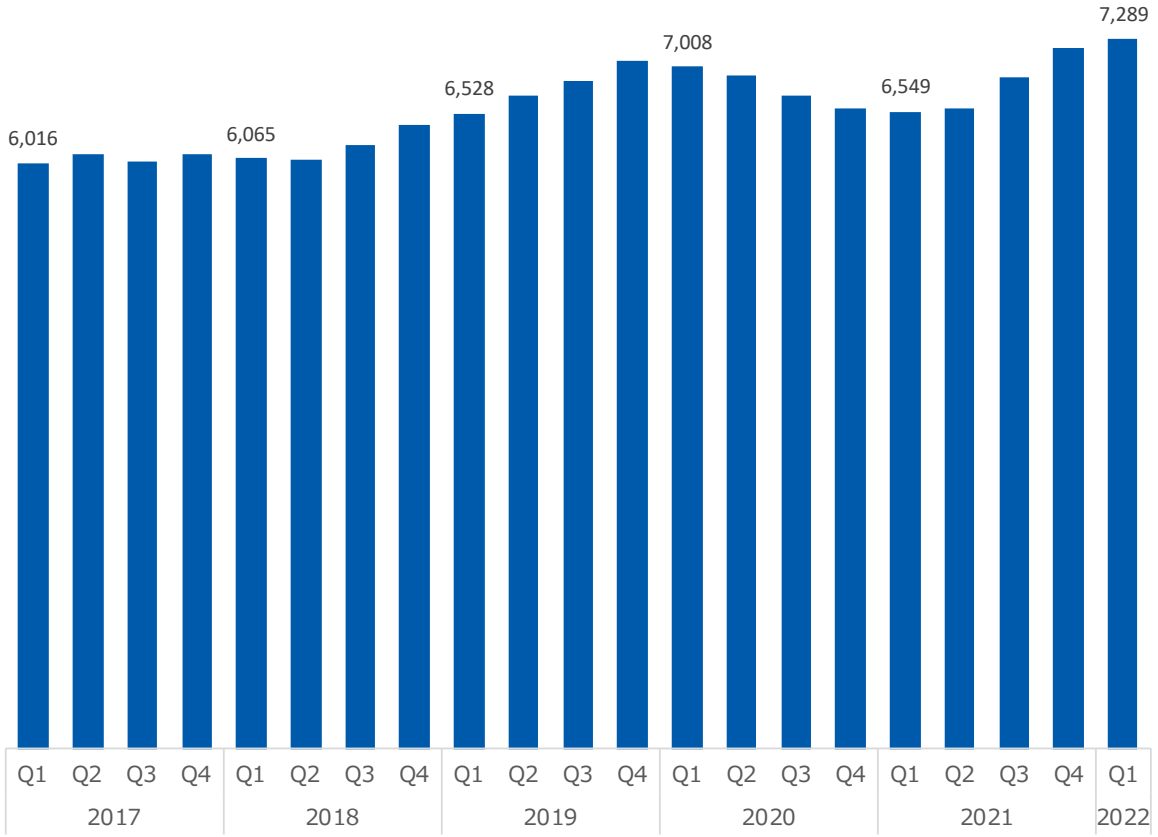
売上高

（百万円）



契約件数

（千件）

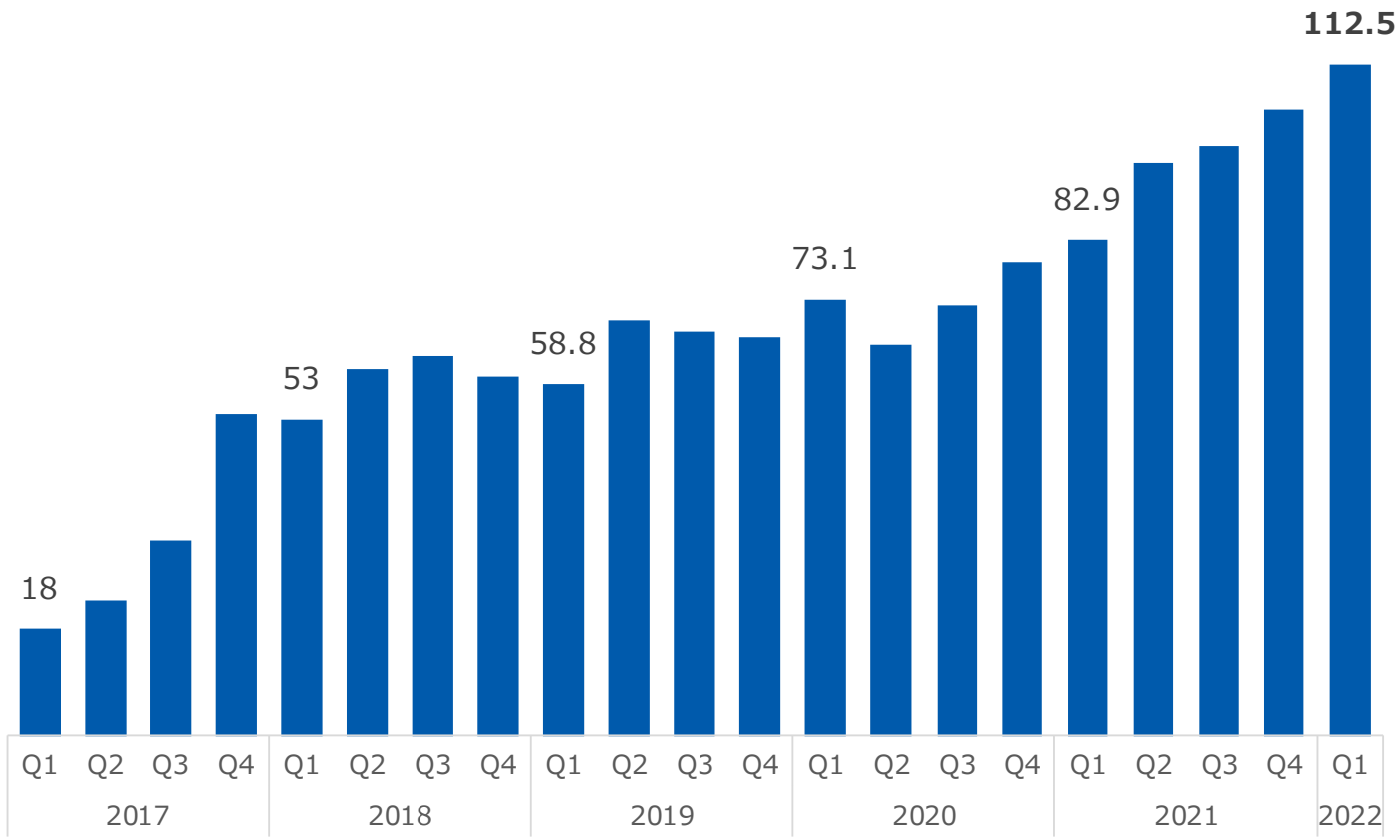


※セグメント再編に伴い2017年Q1以降遡及修正
※新収益基準による影響額：2022年Q1　▲181百万円

ネットインフラ｜ドメイン事業［事業展開］

ネットインフラ｜ドメイン事業［ .shop ］契約件数

（万件）



更新率※

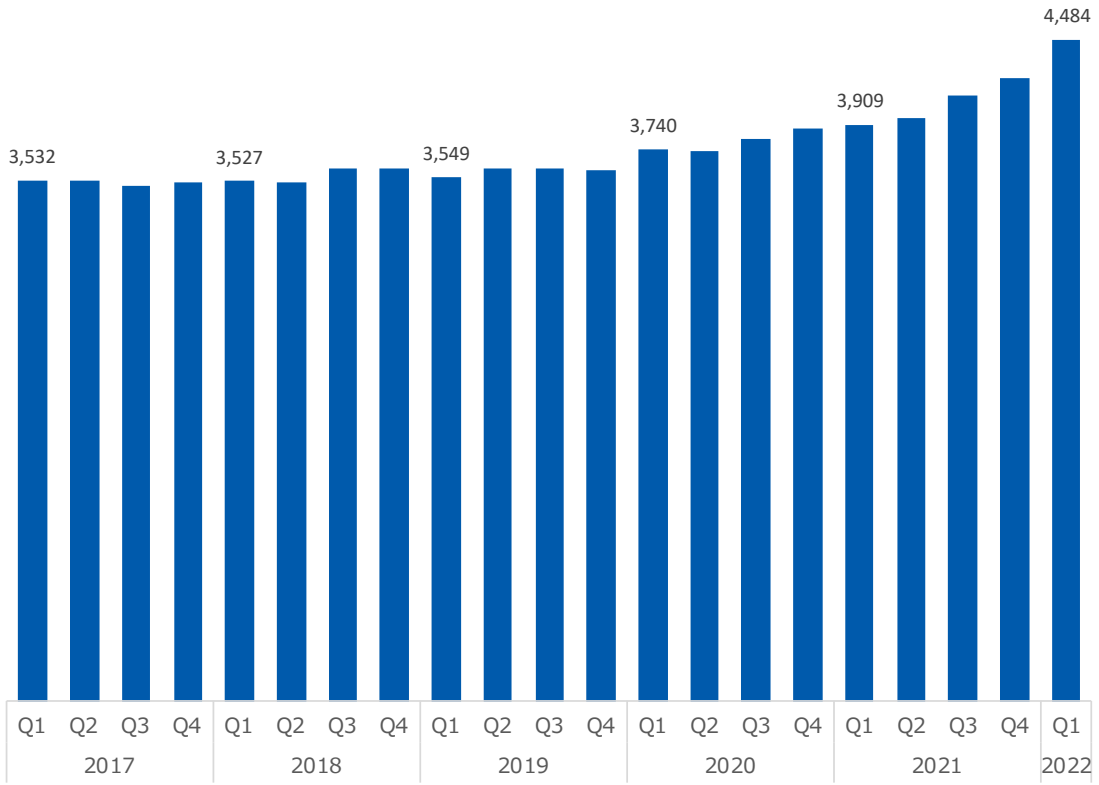
70.9%

※2016年9月から2020年9月登録分を更新母数とした2回目更新率

ネットインフラ｜クラウド・ホスティング事業KPI

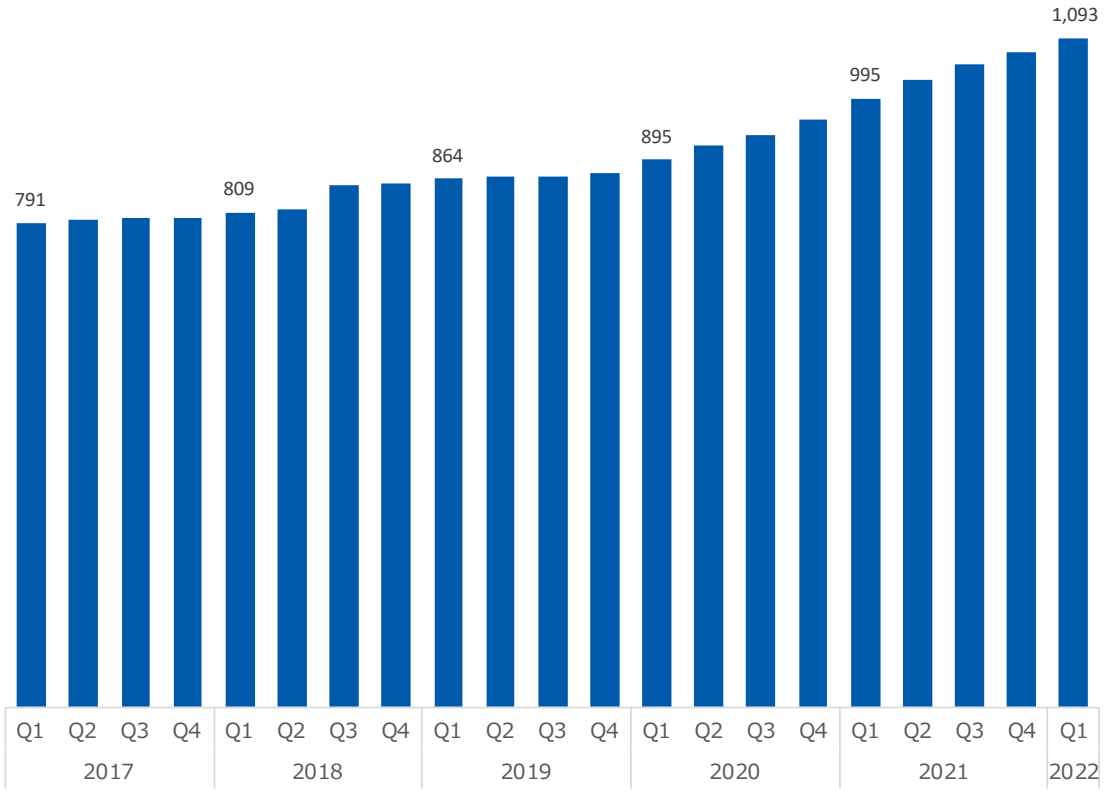
売上高

（百万円）



契約件数

（千件）

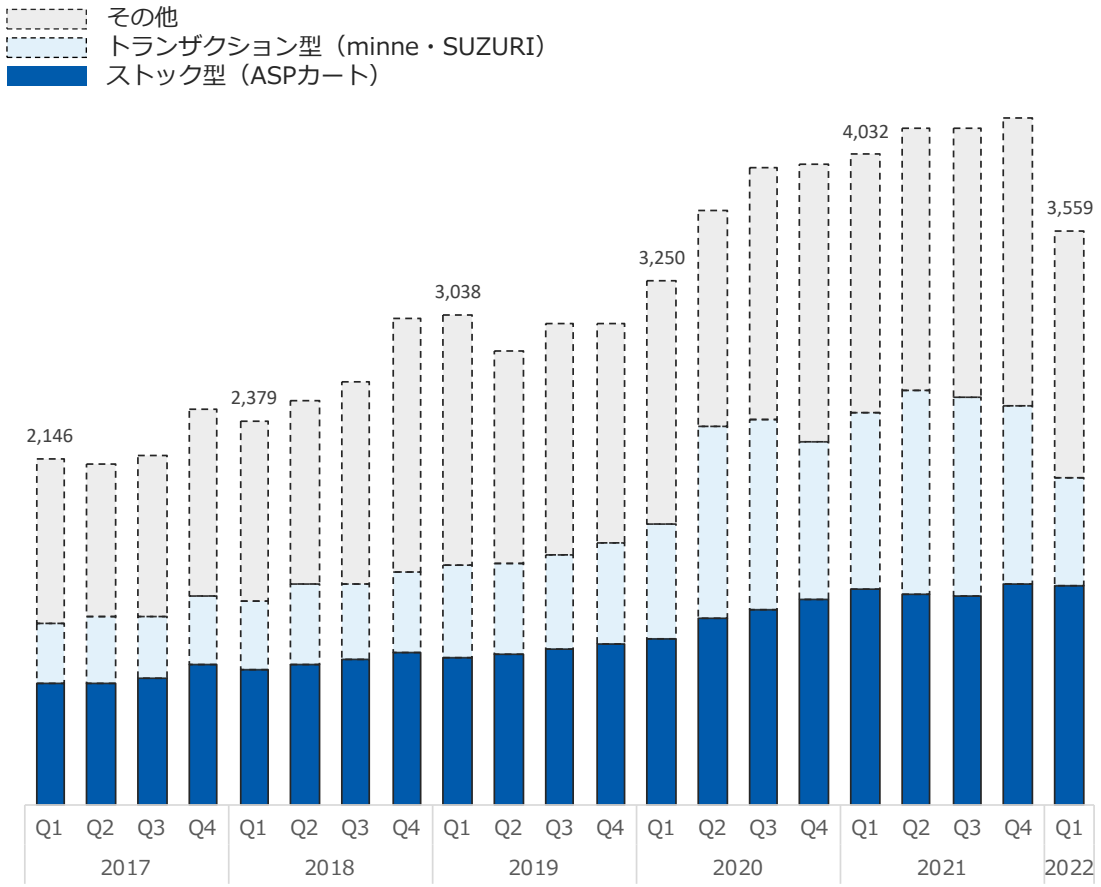


※新収益基準による影響額：2022年Q1　▲3百万円

ネットインフラ｜EC支援事業（ASPカート事業KPI）

売上高

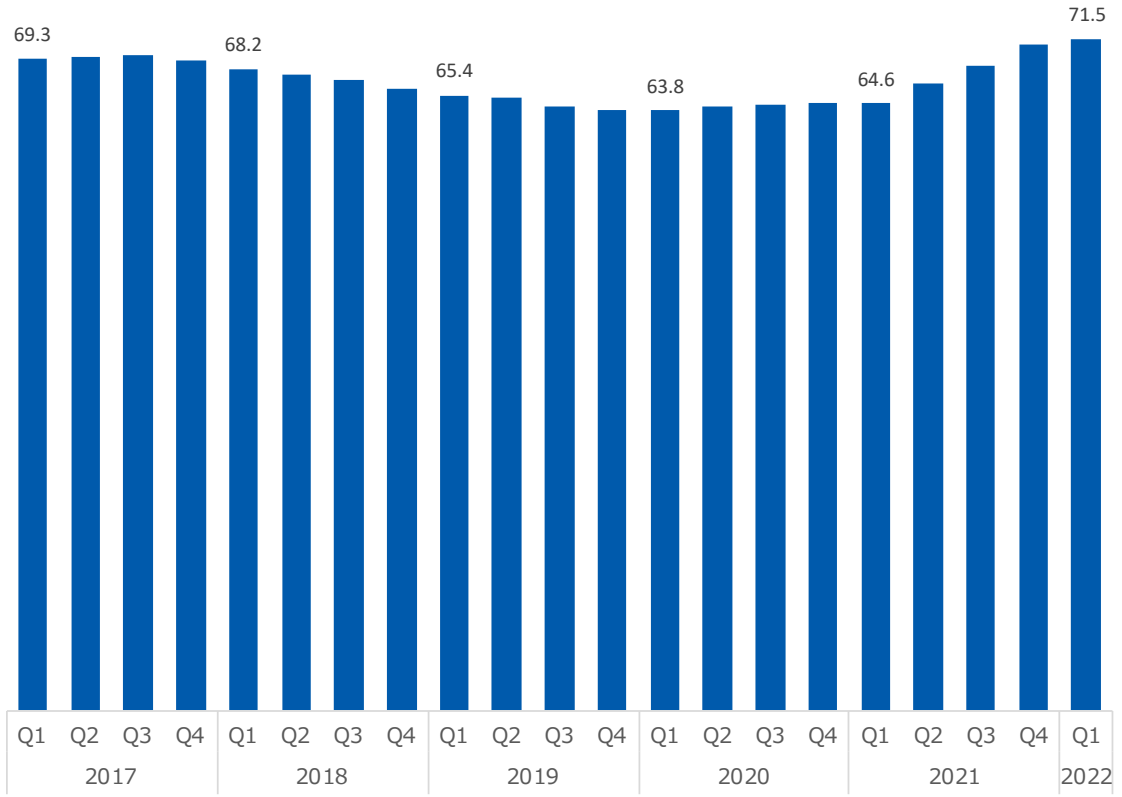
（百万円）



※新収益基準による影響額：2022年Q1　▲702百万円

ASPカート店舗数 ※

（千件）



※OEM提供分に一部無料アカウントが含まれていたため、2015から遡及修正しております

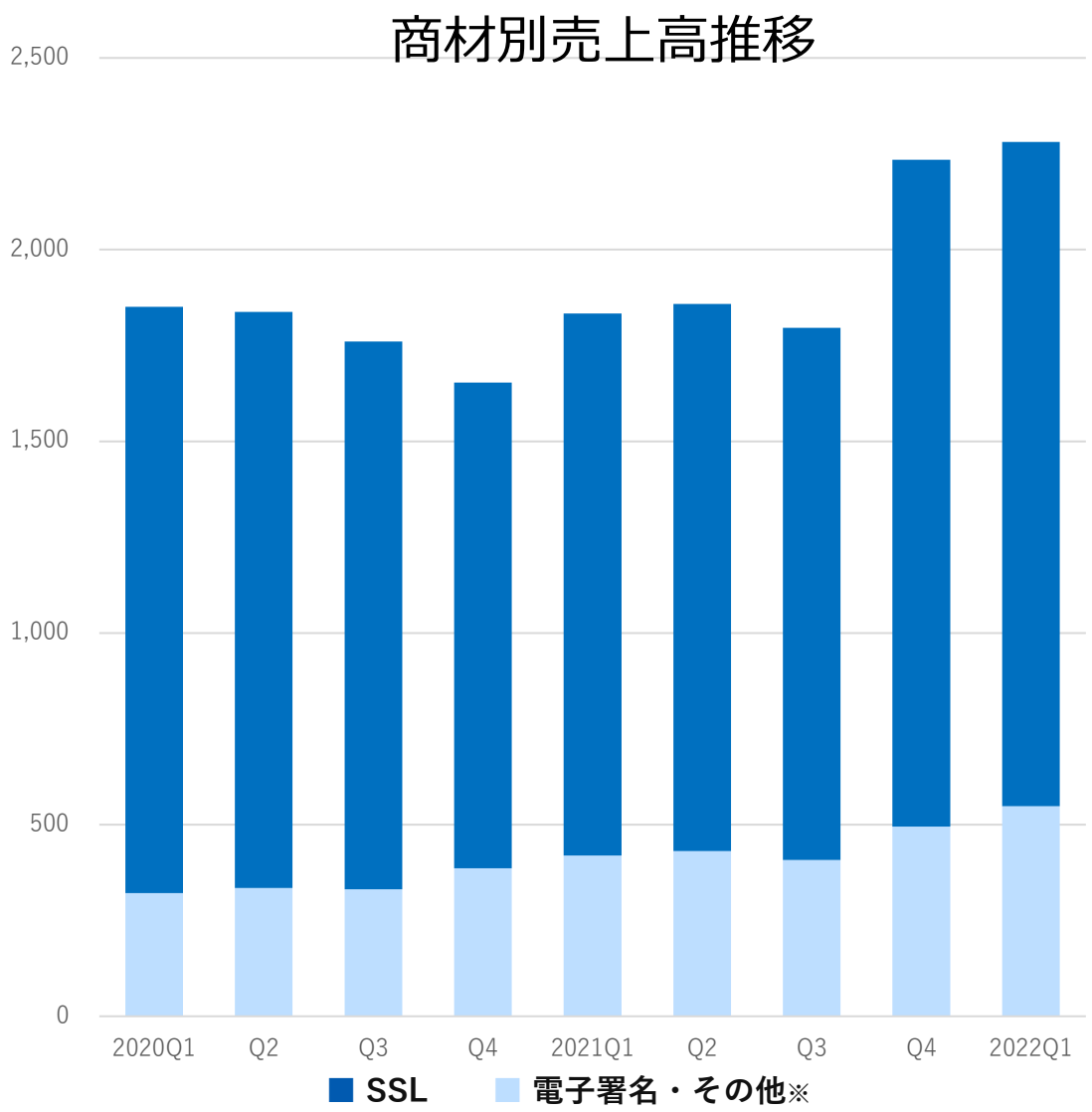
※2021年Q2よりカラーミーショップのフリープランの件数を可算しております

ネットインフラ｜ECプラットフォーム

自然なクロスセルにより、ストック&トランザクションで収益化

	ネットショップ作成	決済
サービス	COLOR ME MakeShop®	GMO EPSILON GMO PAYMENT GATEWAY
ビジネスモデル	ストック型	トランザクション型
収益	単価×店舗数	GMV×手数料率など
計上セグメント	EC支援	決済

ネットインフラ｜セキュリティ事業｜暗号セキュリティ



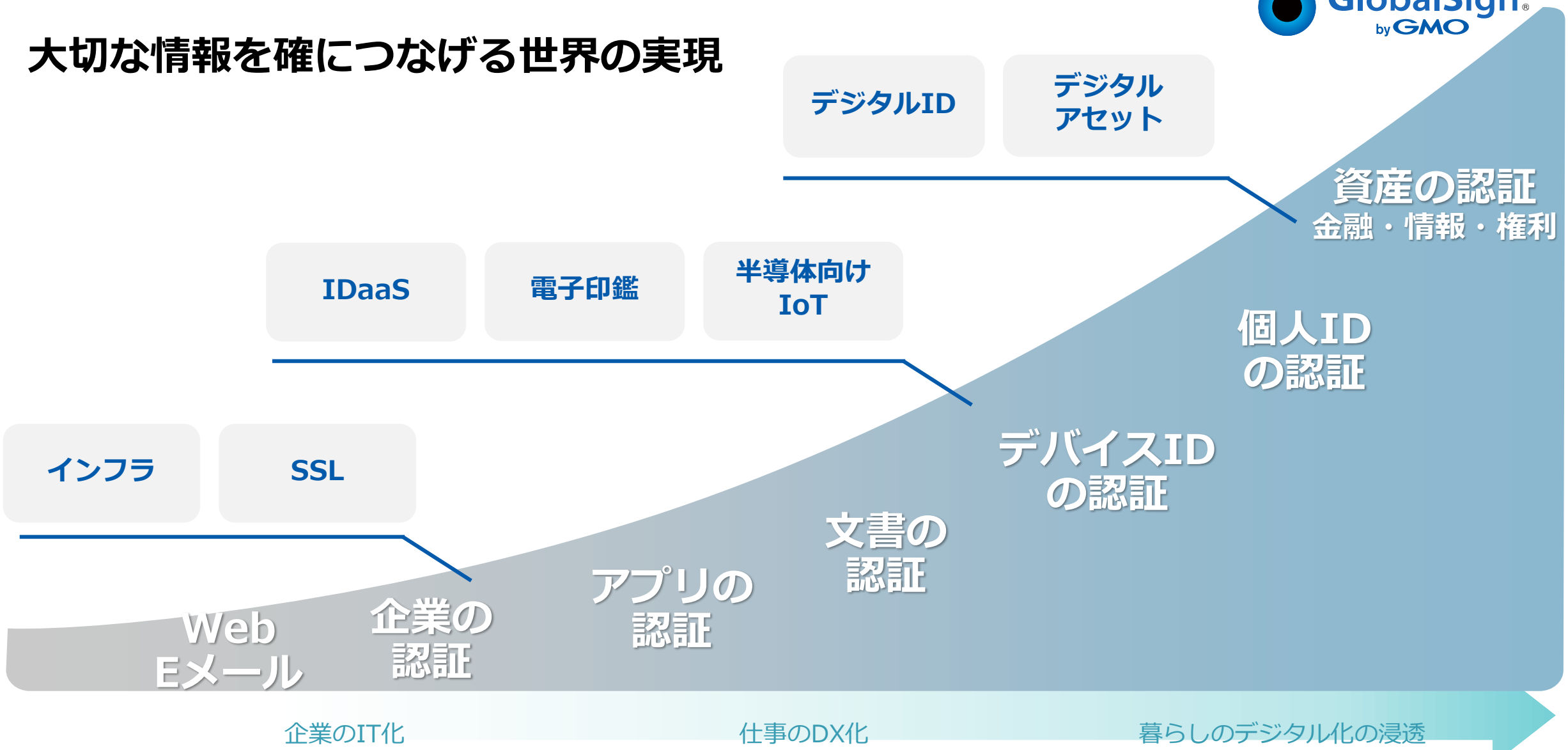
※ 電子署名サービス、クライアント証明書、電子契約サービス、IDアクセス管理サービス等の売上高

Webの認証に加え
デバイスやドキュメントへ
ビジネスが拡大

GMO－GSHD決算資料に基づき当社作成

ネットインフラ｜セキュリティ事業｜目指す姿

大切な情報を確につなげる世界の実現



GMO－GSHD決算資料に基づき当社作成

ネットインフラ｜セキュリティ事業｜暗号セキュリティ

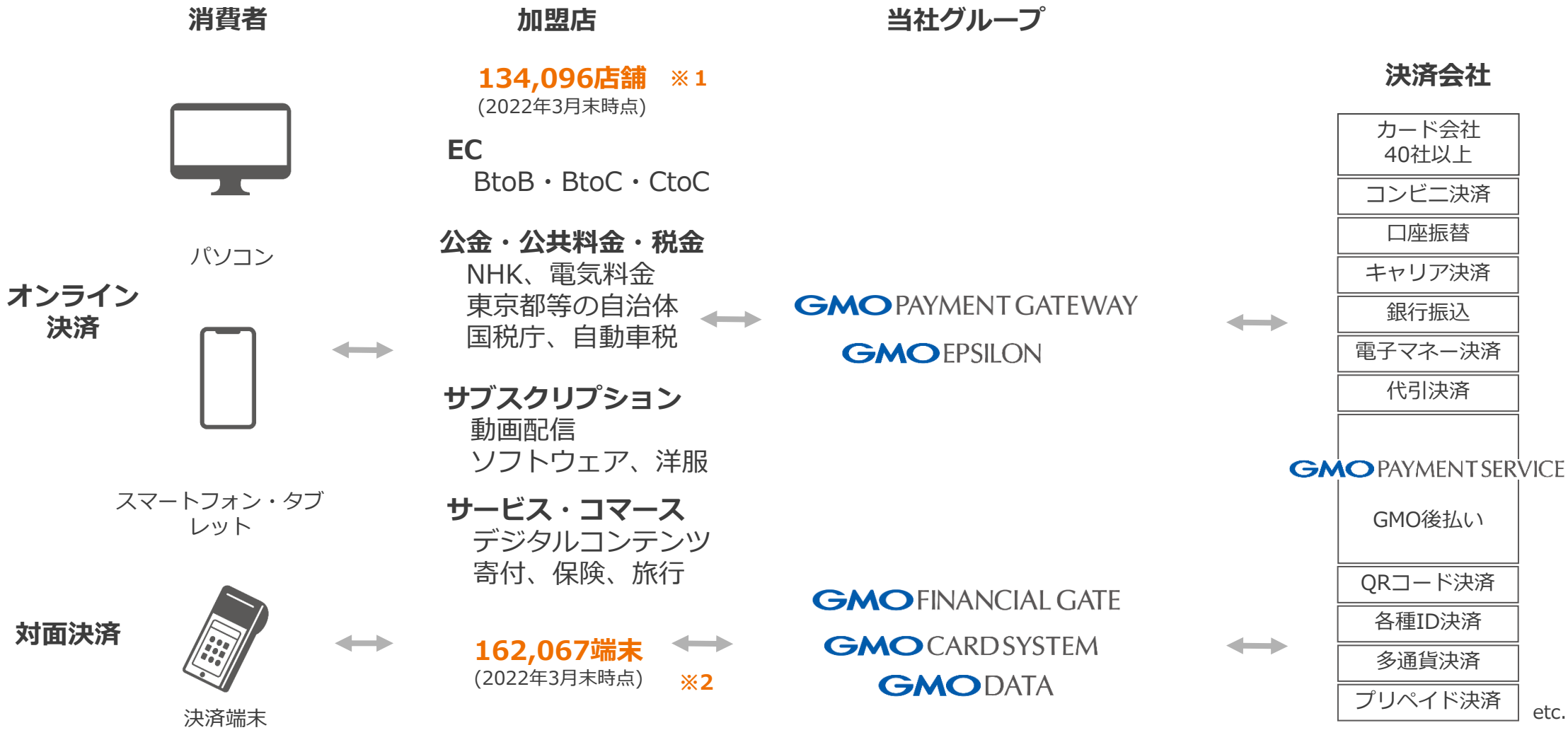
電子印鑑なら
GMOサイン

自社で電子認証局を保有していることから、いずれも提供可能

	当事者型	立会人型
認証力の強さ	◎ （電子署名法第3条）	○
署名プロセス	認証局により事前発行された押印者双方への本人確認・電子証明発行	双方へのメール認証
メリット	厳格なガバナンスとの親和性が高い	契約相手の負担が少なく、比較的ライトな文書で利用しやすい
デメリット	相手押印者への負担が大きい	押印権限管理が煩雑

ネットインフラ｜決済事業［事業概要］

加盟店と各決済会社との“契約”“決済情報”“お金のやりとり”を繋ぐ



※1 22/2Qより稼動店舗数の計上基準を変更。稼動店舗数は特定案件に及び大手デリバリー加盟店に係る店舗数を除く。当該案件を含む2022年3月末時点の稼動店舗数は397,670店。（前年同期比+59.9%）

※2 稼動端末数：2021年9月期より提携先にて販売した端末及び組込型端末も含んだ稼動端末数を開示（前年同期比+68.6%）

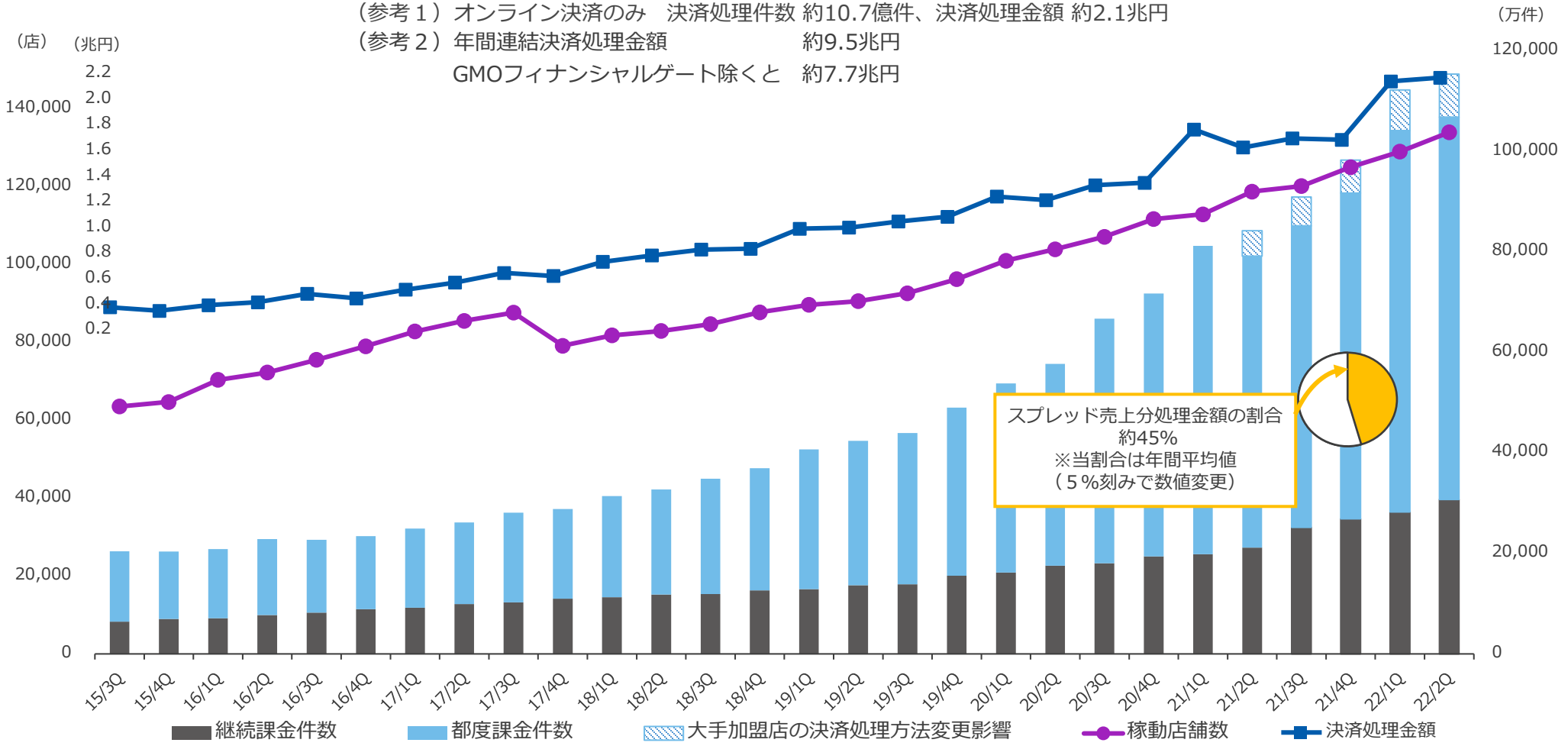
GMO－PG決算資料に基づき当社作成

ネットインフラ｜決済事業　KPI（四半期推移）

連結全体での決済処理金額は年間約9.5兆円に

稼動店舗数 134,096店※1、連結決済処理件数 約11.5億件、連結決済処理金額 約2.7兆円※2

（参考１）オンライン決済のみ　決済処理件数 約10.7億件、決済処理金額 約2.1兆円
（参考２）年間連結決済処理金額　約9.5兆円
GMOフィナンシャルゲート除くと　約7.7兆円



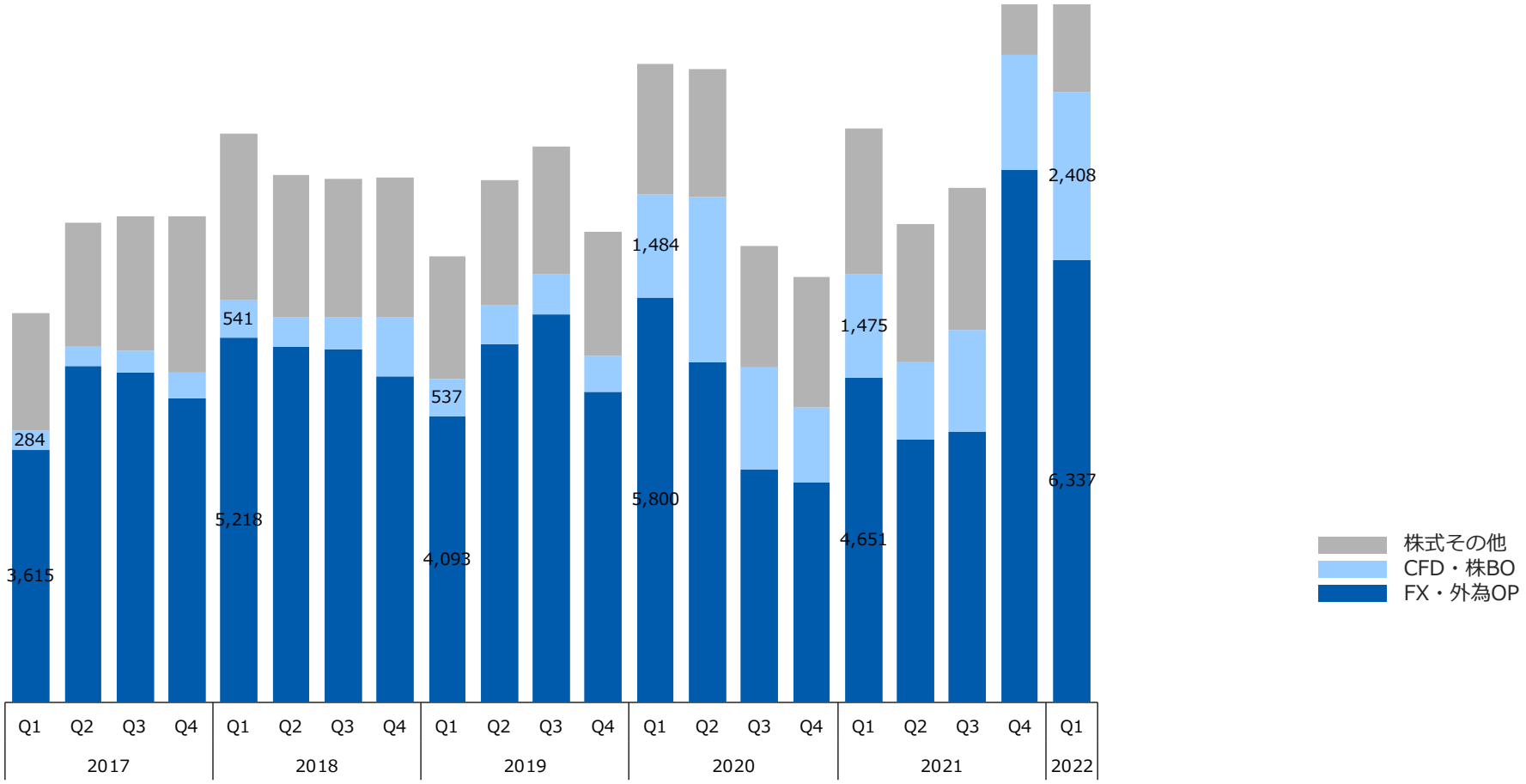
※1 稼動店舗数は特定案件に係る店舗数を除く。17/1Qより大手デリバリーに係る店舗数を除く。当該案件を含む同時点の稼動店舗数は397,670店（前年同期比+59.9%）
※2 稼動店舗数は四半期末時点、連結決済処理金額・件数は各四半期毎の実績。※3 グラフはオンライン決済のみの数値で作成。
※4 22/2Qより稼動店舗数の計上基準を変更。伴って15/3Qより遡及的に数値を修正。

GMO－PG決算資料に基づき当社作成

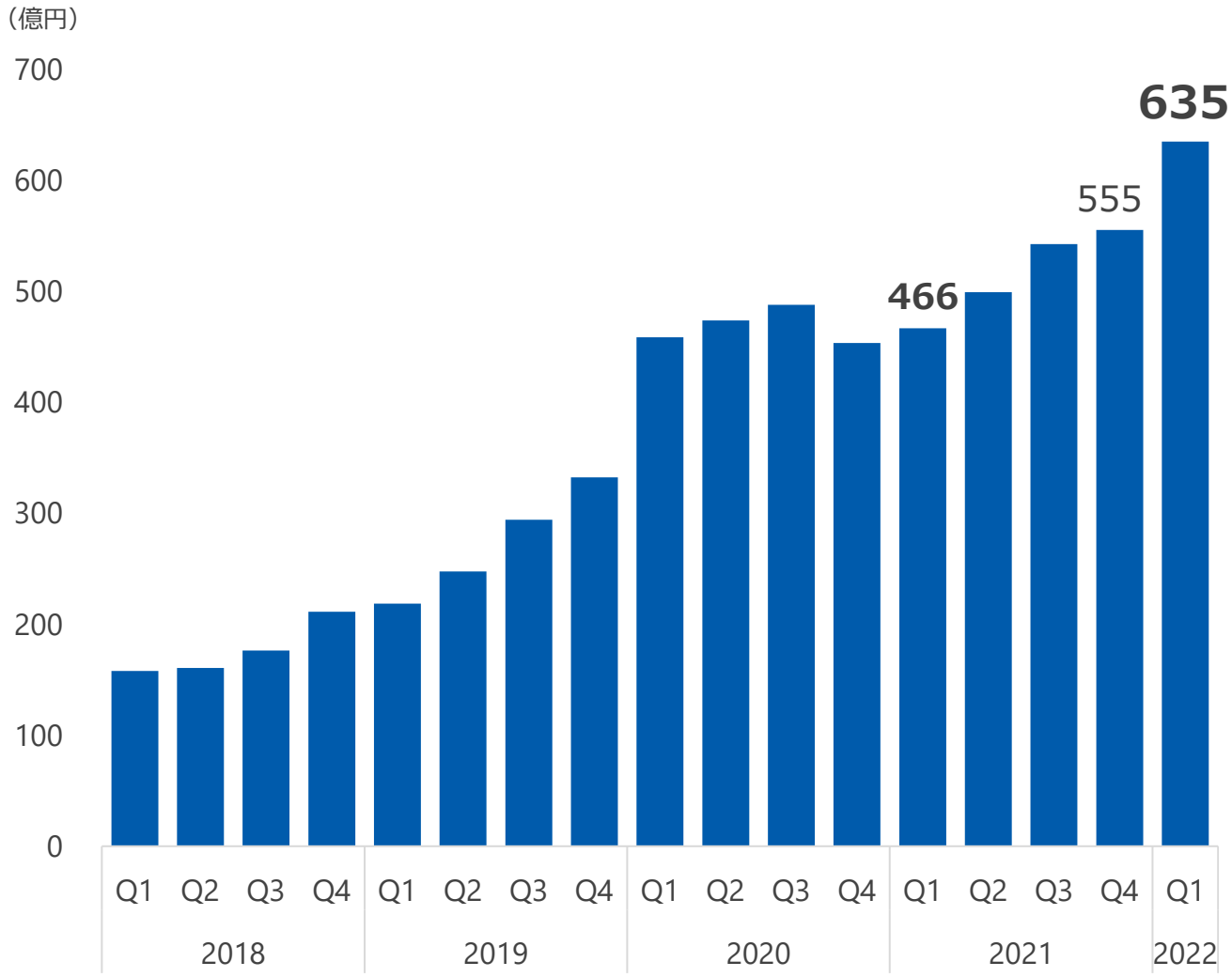
インターネット金融事業

ネット金融｜営業収益（セグメント別／商品別）

（百万円）



ネット金融｜CFD預り証拠金残高の推移



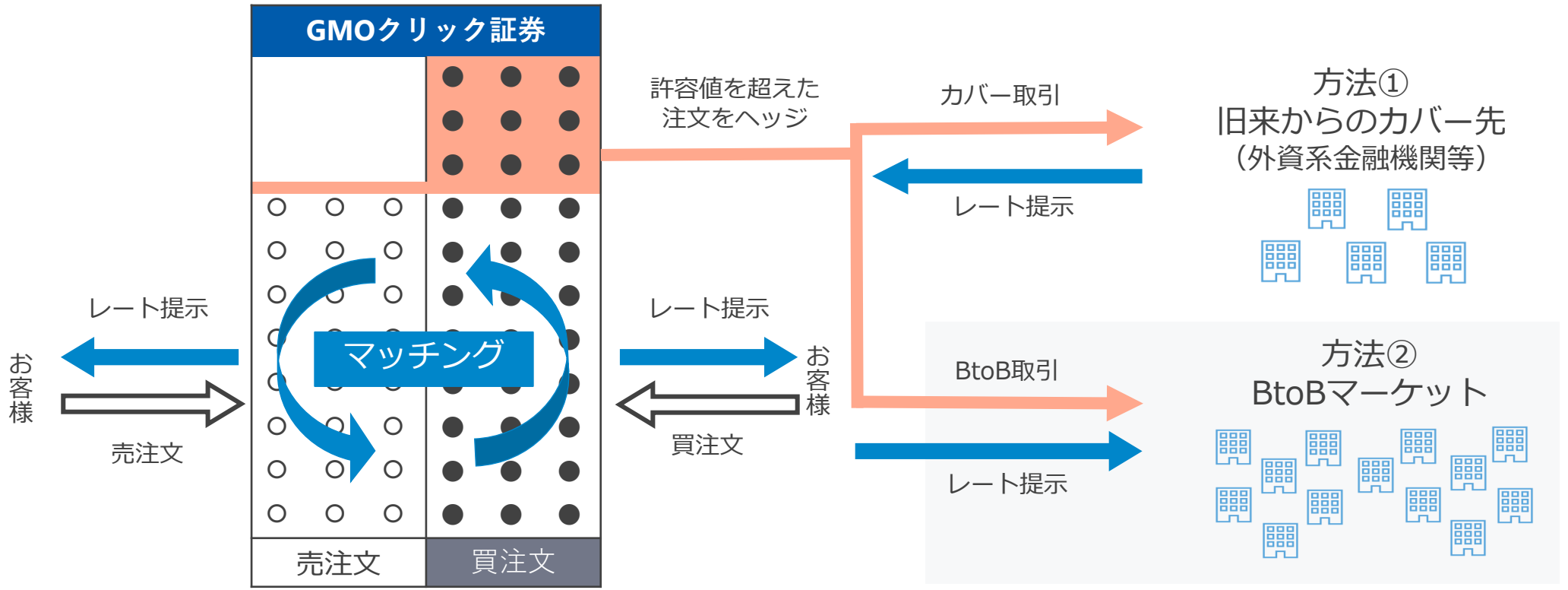
YoY **36.1** %増

大きく伸長

※GMO-FH決算資料より当社にて作成

ネット金融｜ビジネスモデル（店頭FX）

効率的なマッチングと、ポジションの保有リスクをヘッジする徹底した管理を追求

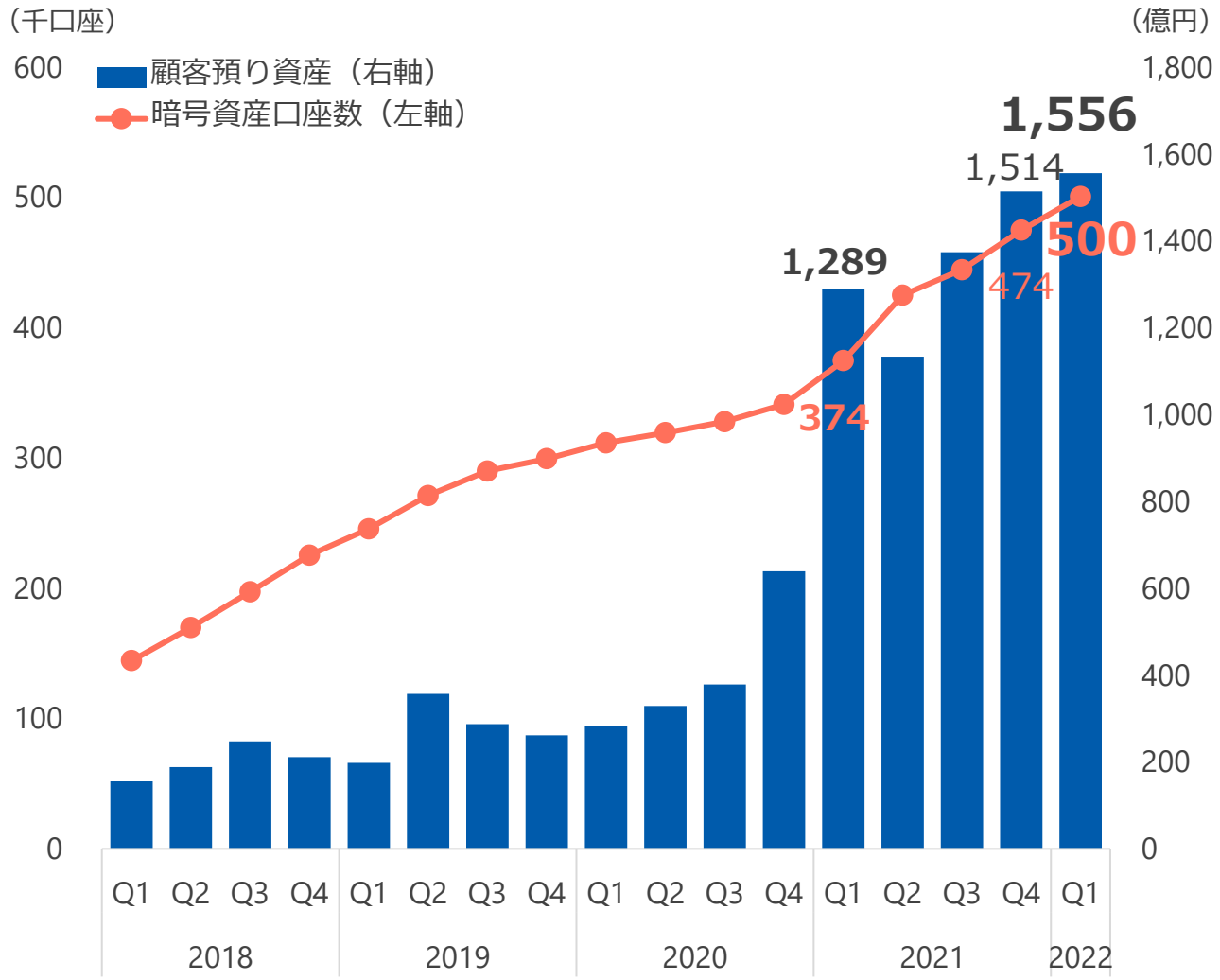


（上記は概念図）

※GMO-FH決算資料より当社にて作成

暗号資産事業

暗号資産交換事業｜口座数と顧客預り資産の推移



口座数

YoY **126** 千口座増

顧客預り資産

YoY **20.7** %増

50万口座突破

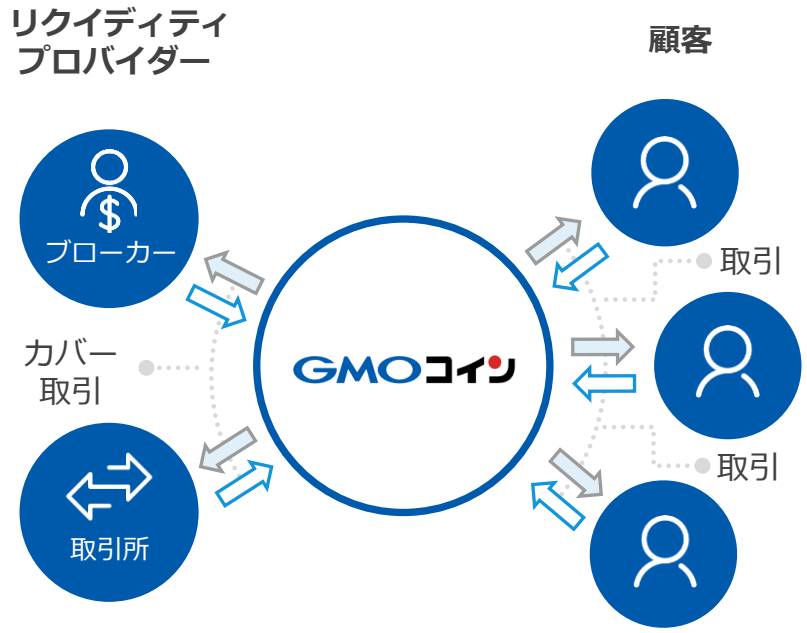
「2022年 オリコン顧客満足度®調査暗号資産取引所 現物取引」において、GMOコインが総合第1位を獲得。2年連続でNo.1

※GMO-FH決算資料より当社にて作成

暗号資産交換事業｜ビジネスモデル

販売所モデル

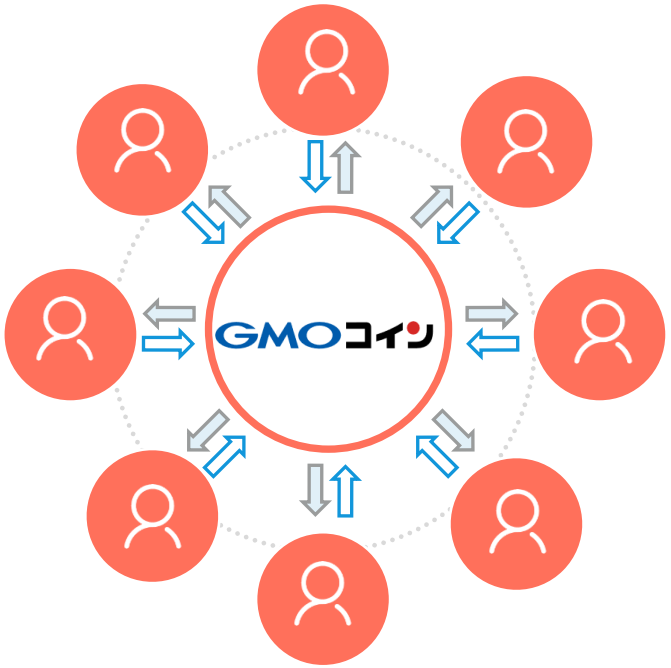
GMOコインが顧客取引の相手方となる取引
保有ポジションはカバー取引でヘッジ



主な収入源：スプレッド（売値と買値の差）

取引所モデル

GMOコインは取引をマッチングする場を提供
顧客の取引毎に手数料を受け取る



主な収入源：取引手数料

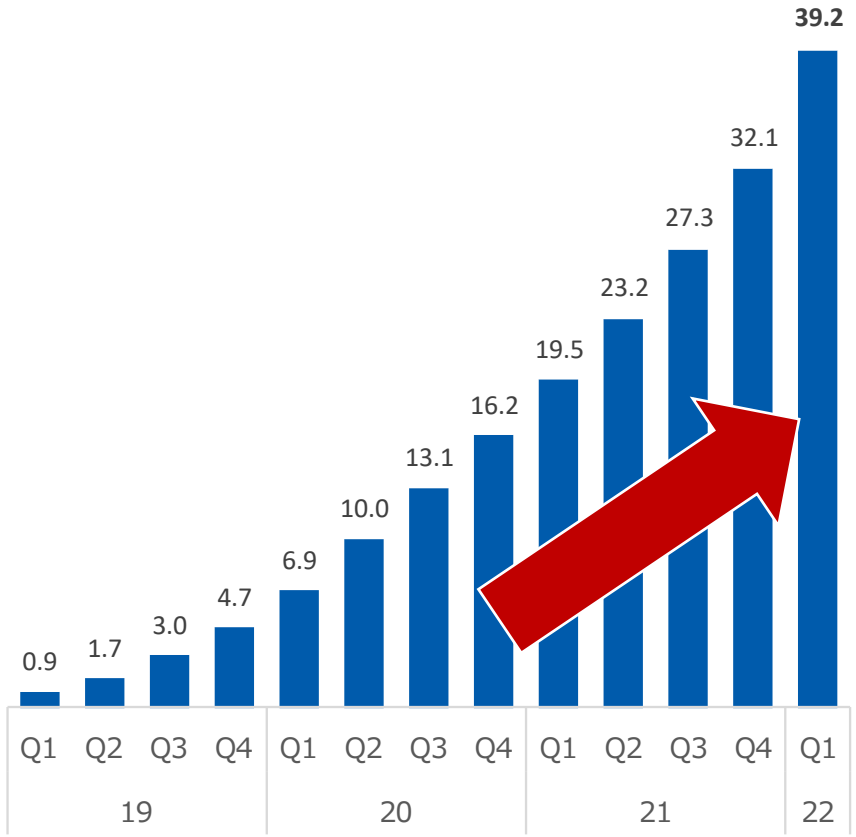
※GMO-FH決算資料より当社にて作成

GMOあおぞらネット銀行

ネット銀行｜法人口座数

GMOあおぞらネット銀行

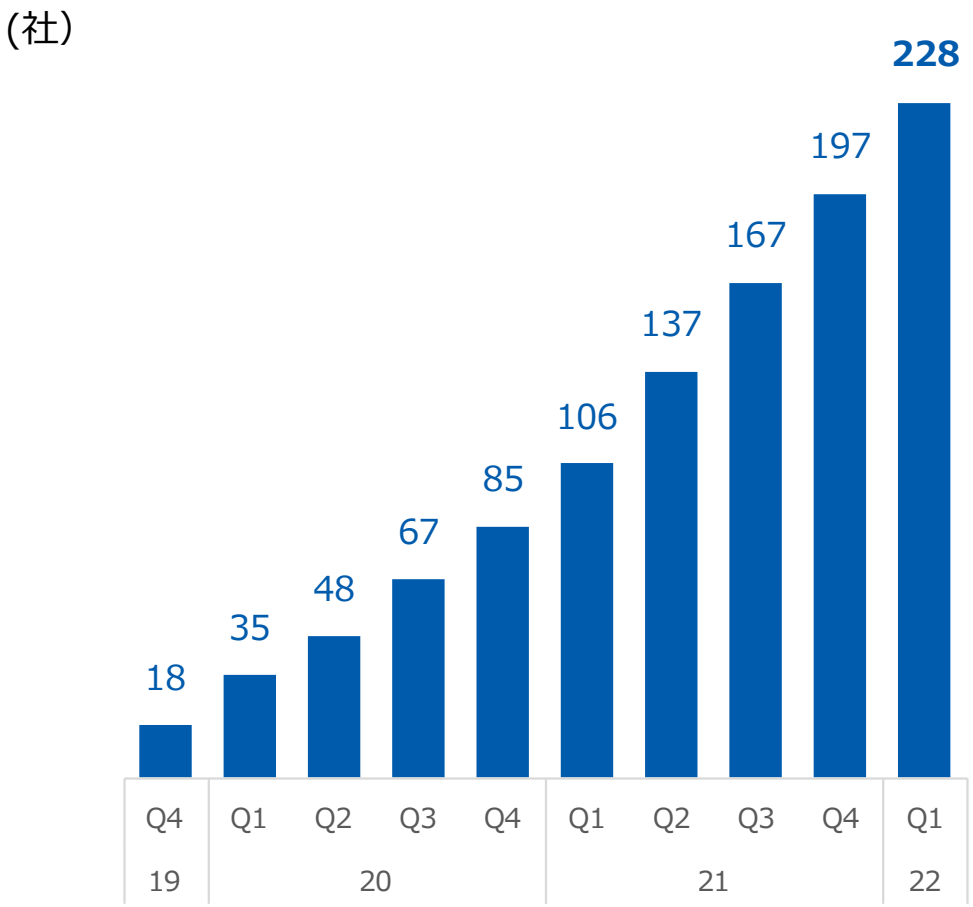
（千件）



前年同期比

2倍

ネット銀行｜API接続契約社数

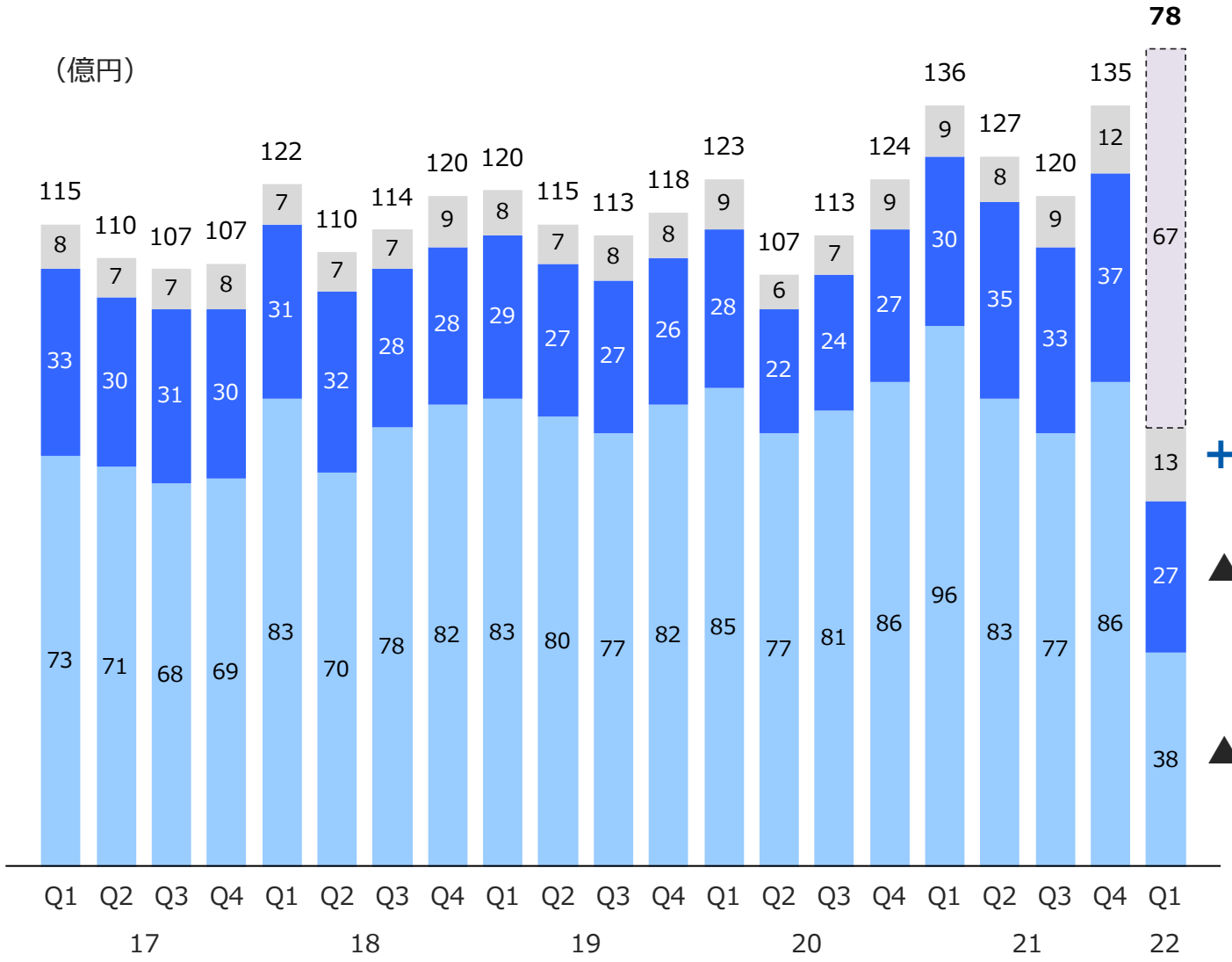


好調に推移

ネット広告・メディア

ネット広告・メディア｜セグメント別売上高

前年同期比（旧・新）



+41.4%

▲10.5%

▲60.5%

対前年

42.3%減

- 基準差異
- インターネットリサーチ・その他
- インターネットメディア
- インターネット広告

GMOリサーチ｜Audience Engagement Platform

Audience Engagement Platform

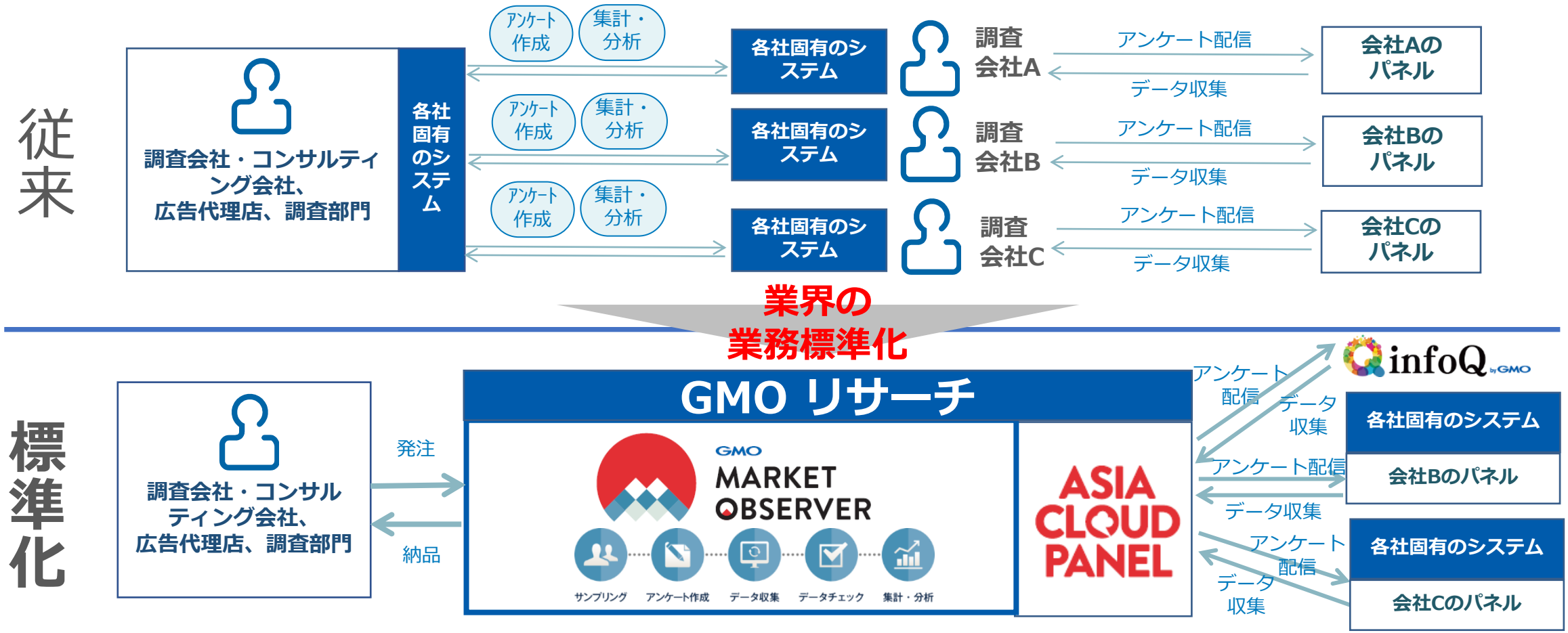
GMO MARKET OBSERVER

GMO RESEARCH ASIA CLOUD PANEL

※GMOリサーチ決算資料をもとに当社作成

GMOリサーチ｜ビジネスモデル

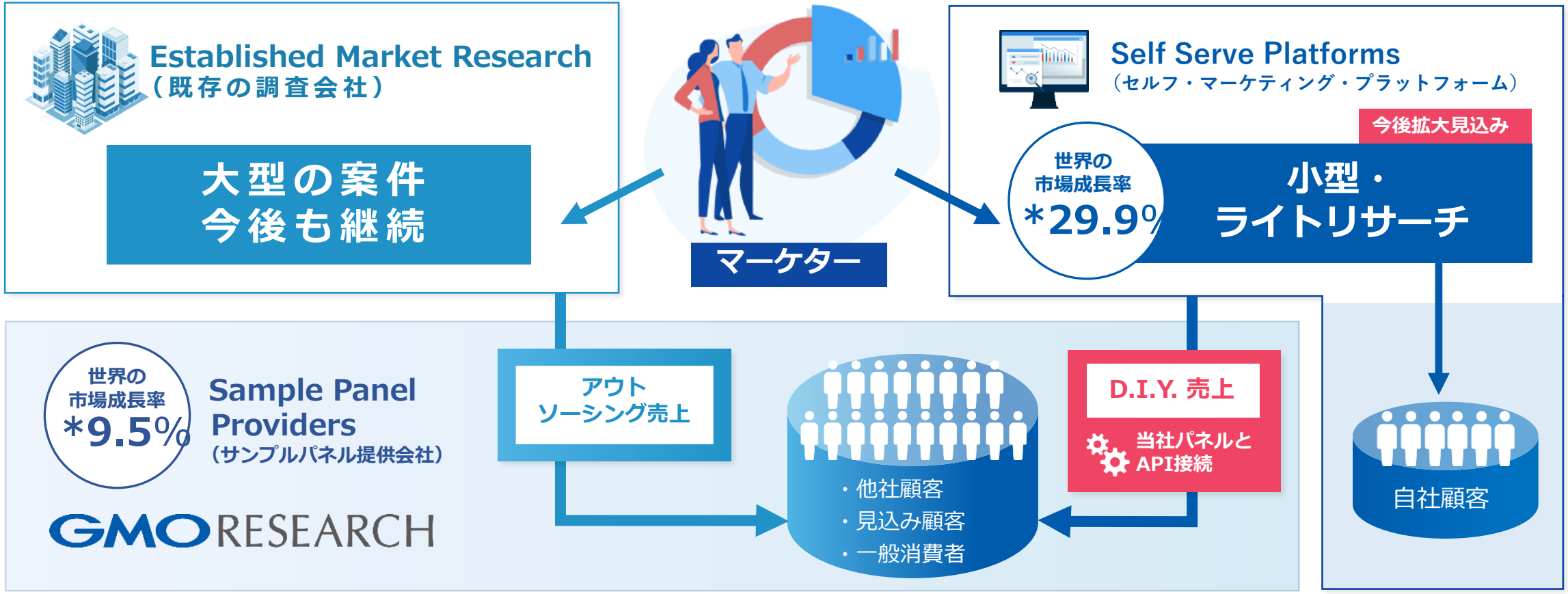
従来各社ごとに開発されていたインターネットリサーチツールを標準化し、低コストで提供



※GMOリサーチ決算資料をもとに当社作成

GMOリサーチ| サンプルパネル市場で起きていること

- 既存の調査会社のオンラインパネル運用管理は引き続きアウトソーシング
- マーケターは、手元のツールから手軽にパネル（一般消費者）にライトリサーチ
- ライトリサーチ・プラットフォームはサンプルパネル提供会社とAPIで連携推進



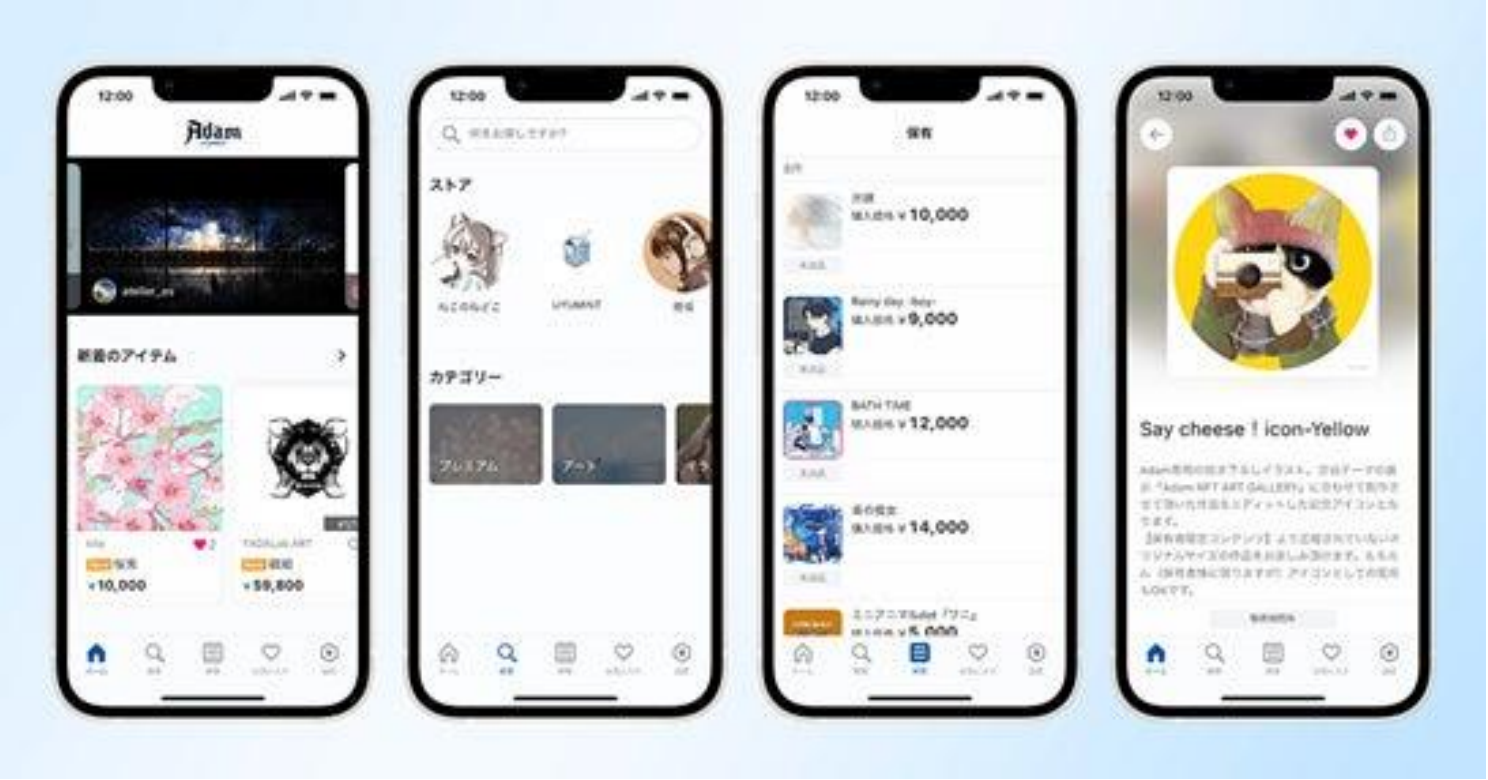
*出展：*ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2023*

※GMOリサーチ決算資料をもとに当社作成

NFT

NFT事業

- スマホに最適化されたUI/UXを実現したアプリを3/31にリリース
- いつでも、どこでも、さらに手軽にNFTの検索、鑑賞、二次販売（Andoroidのみ）が可能に



**3/31
スマホアプリリリース
（iOS版・Android版）**

※GMO-FH決算資料より当社にて作成

すべての人にインターネット

GMO